

一般社団法人

日本先制臨床医学会

Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine

JSPCM TOKYO 2021

第4回 学術大会プログラム

大会テーマ：新時代の先制医療

～世界へ発信する統合腫瘍治療～

日時：2021年11月20日(土)–21日(日)

会場：大崎ブライトコアホール

大会長：田中 善

(医療法人仁善会理事長 田中クリニック院長)

一般社団法人 日本先制臨床医学会

先制臨床医学がひらく未来

将来起こりやすい病気を疾患の発症前に
予測・診断し、先制し介入するという
予防医療の観点から我が国の学術の発展
及び国民の健康増進に寄与していきます。



理想のカラダづくりを目指す、
日本先制臨床医学会の認定製品^(※1)

 <p>01 NMN REAGEA (株式会社ウェルネス・ワン)</p>	 <p>02 ラクピア (株式会社サイドランド)</p>	 <p>03 ホットタブ (株式会社ホットアルバム) 炭酸泉タブレット</p>	 <p>04 NanoGAS®ウォーター (シンバイオシス株式会社)</p>
 <p>07 ジアレティア (株式会社 スーパーライトウォーター)</p>	 <p>08 重水素減少水 (株式会社 スーパーライトウォーター)</p>	 <p>09 Lakuwa (株式会社バイオフィトン)</p>	 <p>10 Graphene (株式会社 BARNUM)</p>

(※1) 日本先制臨床医学会 認定製品 とは？ 以下の5項目をすべて達成している、当学会が認定した製品です。

- 1) 日本先制臨床医学会の認定委員会のメンバー全員が承認すること
- 2) エビデンスまたはそれに準ずる報告書が有すること
- 3) 医師・歯科医師・獣医師・薬剤師・医学部所属研究者等の推薦を有すること
- 4) 日本先制臨床医学会の賛助企業として認められていること
- 5) 販売方法が明瞭・公正であること

※ 医薬品、医薬部外品、化粧品及び医療用具は対象外です。また、製品について疾病の治療等の効果効果を認めるものでもありません。



一般社団法人 日本先制臨床医学会
第4回 学術大会 大会長

田中 善

(一般社団法人 日本先制臨床医学会 理事、医療法人 仁善会田中クリニック 理事長)

一般社団法人日本先制臨床医学会第4回学術大会を開催にあたり、新型コロナウイルス感染症による困難な状況にもかかわらず、皆様のご支援、ご協力により開催できることに感謝申し上げます。

本学術大会を開催するにあたり、メインテーマを「新時代の先制医療」、サブテーマを「世界へ発信する統合腫瘍治療」と致しました。

当学会は、保険診療で認められた医療で限界のある患者さん、とくにがんや難病で苦しんでおられる患者さんに対して、世界の先制的な治療を広く求め、それを実践することによってQOLを向上させ、人生を豊かに幸せに生きていけるようにサポートすることを目指しています。また日本で開発された検査、治療法を世界に発信していく場でもあります。

今回の第4回大会は、幸運にも世界的にご高名な「光免疫療法」の研究・開発者である、NIHの小林久隆先生をお迎えし、この治療の将来性、臨床治験の進行状況など最新情報をご講演いただくことになりました。ご期待いただきたいと思います。

基調講演として、今大会の後援をいただいている点滴療法研究会の柳澤厚生先生には国際オーソモレキュラー医学会会長としてオーソモレキュラー栄養学から新型コロナウイルス感染を含めた世界的な動きを紹介していただきます。教育講演では、日本でのエクソソーム研究の第一人者である落谷孝広先生に、今最もホットな話題であるエクソソーム診断と治療の最前線をご講演いただきます。その他、2日間にわたって、日本国内または世界で行われている先制臨床医学を各専門家の先生方にご講演いただきます。参加していただいた方に新しい先制臨床医学を幅広く知っていただきたいとの思いで、2日間で23人の先生方にご登壇いただくことになり、各先生方の講演時間が短くなりましたこととお詫び申し上げます。

今後も当研究会は、病気の治療、予防、健康維持、さらに人生の幸福という目標に向かって、社会的貢献を果たすことに一層の努力を重ねていきたいと考えています。皆様方の多大なるご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

実り多き学術大会となりますよう、多くの皆様方のご参加を心よりお待ちしております。



一般社団法人 日本先制臨床医学会 / 第4回学術大会

Data	Time	プログラム	登壇・発表者	演題及び座長
1 日 目 (11月20日) (土)	12:30	開場・受付開始		
	13:00	開会挨拶	大会長 田中 善	
	13:10	基調講演 1 統合医療全般	柳澤 厚生 国際オーソモレキュラー医学会会長	座長：田中 善 オーソモレキュラー栄養医学からみた先制臨床医学 ～がん治療から新型コロナウイルス感染症まで
	13:50	教育講演 1 エクソソーム・低分子化フコイダン	落谷 孝広 東京医科大学 医学総合研究所 分子細胞治療研究部門 教授	座長：田中 善 エクソソーム診断と治療の最前線：先制医療の要となる エクソソーム医療の未来を探る
	14:20	教育講演 2 胸部X線画像における肺がん検出支援	岸田 悟	座長：萬 憲彰 “知と実践の融合”に基づいた医工連携の取組み
	14:50	基調講演 2 光免疫療法	岡本 芳晴 萬 憲彰	座長：田中 善
	15:35	出展企業様へのお礼及び企業紹介	大会長 田中 善	
	16:10	特別講演 光免疫療法	小林 久隆	座長：田中 善 がんの近赤外光線免疫療法（光免疫療法）
	17:10	パネルディスカッション	小林 久隆、岡本 芳晴、 萬 憲彰、田中 善	座長：福沢 嘉孝
	17:45	閉会のあいさつ	副大会長 福沢 嘉孝	
18:00	情報交換会（懇親会）	ホワイエにて		
20:00	1日目終了			
Data	Time	プログラム	登壇・発表者	演題及び座長
2 日 目 (11月21日) (日)	8:00	遺伝子治療	石川 貴大	座長：萬 憲彰 動き始めた遺伝子治療
	8:30	自家がんワクチン	大野 忠夫	座長：萬 憲彰 がんは切っても捨てるな、それが自分のがんと思う武器になる！～その2～
	9:00	低分子化フコイダン	西本 真司	座長：田中 善 ガンに対する低分子化フコイダン、を中心とした統合医療の臨床改善報告
	9:30	血管内治療	堀 信一	座長：萬 憲彰 経動脈性治療が持つ潜在的能力の実証
	10:00	培養上清治療	上田 実	座長：田中 善 培養上清治療とは何か
	10:30	循環腫瘍細胞CTC	喜多村 邦弘	座長：田中 善 循環腫瘍細胞CTC検査からみたがん治療の提案
	11:00	水素発生シリコン製剤	小林 悠輝 木村 衛	座長：田中 善 シリコン製剤による酸化ストレスの抑制と酸化ストレス性疾患の予防・治療 体内水素発生剤ソレザウス®3000の腸内環境および自然免疫環境に及ぼす影響
	11:30	光免疫療法	赤木 純児	座長：萬 憲彰 ICGリポソームを使用したひかり免疫療法の可能性
	12:00	休憩（15分間）		
	12:15	ランチョンセミナー	浅井ゲルマニウム研究所	座長：福沢 嘉孝
	13:00	休憩（30分間）		
	13:30	がんサバイバー体験談①	川口 健太郎	
	13:45	がんサバイバー体験談②	陽水 麻未	
	14:00	霊性の時代	長堀 優	座長：西谷 雅史 見えない世界の科学が医療を変える～東洋哲学と西洋科学の統合～
	14:30	腸内フローラ	城谷 昌彦	座長：田中 善 自閉症児治療における腸内フローラ移植（FMT）の可能性
	15:00	Covid-19	井上 正康	座長：田中 善 がんの近赤外光線免疫療法（光免疫療法）
	15:30	休憩（30分間）		
	16:00	NMNの効果的摂取	石黒 伸	座長：川上 智史 オーバーオールヘルスのためのNMN
	16:30	唾液mRNA検査	山本 慎	座長：福沢 嘉孝 唾液を用いたERBB2およびSIRT1 mRNAの発現レベルを決定するアッセイの開発
	17:00	末期がん治療 他	白川 太郎	座長：川上 智史 Novel CTC Test followed by Iodine therapy for the terminal stage of cancer patients
17:30	学会功労者 表彰 大会功労者 表彰 大会名誉会長 表彰 次回大会長 挨拶 閉会あいさつ	福沢 嘉孝 田中 善 田中 善 川上 智史 福沢 嘉孝		
17:45	2日目終了			

日本先制臨床医学会理事会および統括事務局、大会事務局、会場責任者（大崎ブライトコアホール）との協議により、万全の感染症予防対策で来場者様をお迎え致します。

来場者様にも下記のご協力をお願いする形となりますが、よりよい学術大会の開催となるよう、ご迷惑をおかけする形となりますが、ご協力の程よろしくご協力申し上げます。

マスク着用

ソーシャル
ディスタンス

手指消毒

検 温

換 気

Infectious
disease
countermeasures

なお、本学術大会は内閣官房新型コロナウイルス感染症対策推進室長より各都道府県に出されたイベント収容率に準拠したイベント計画を作成しております。

また、会場の選定もホール内は外気と内気を循環させる循環システムを有する大崎ブライトコアホールで行うことで、感染症対策を行いながらの学術大会が可能という判断を致しました。大崎ブライトコアホールでは1時間に5回、空気の入替えを行っております。

当日、プログラム進行に影響が及ぼさないタイミングで場内の換気のための開場を行います。

大崎ブライトコアホールにて行なっております感染症予防対策の詳細につきましては、右記の大崎ブライトコアホール HP リンク QR コードからご確認いただけますので、そちらもどうぞご参照ください。



新型コロナウイルス (COVID-19) の感染予防対策について

オーソモレキュラー栄養学からみた先制臨床医学 ～がん治療から新型コロナウイルス感染まで～

座長 田中 善



国際オーソモレキュラー医学会
会長

柳澤 厚生

オーソモレキュラー医学とは人の体内に存在する栄養素（ビタミン、ミネラル、アミノ酸など）の中から適切な種類と量を投与することで、病気の治療と予防をする医学である。時には栄養学的効果のみならず、薬理学的効果を期待してビタミンやミネラルの大量投与をすることもある。

がん治療では50g~100gの大量のビタミンCを点滴で投与する高濃度ビタミンC点滴療法（IVC）が最も知られている。IVCはがん患者のQOLや進行度/重症度の改善、寛解率や化学療法の副反応の改善等の臨床成績が様々ながんで報告されている。最近ではがんと診断されたときにすぐに始める基本治療の一つとしてIVCが位置づけられている。また、高濃度ビタミンC点滴療法と共に、自己免疫を高めるためにビタミンD、セレン、αリポ酸、マグネシウムなどの栄養素も必須とされている。

オーソモレキュラー栄養学では様々な急性/慢性疾患に対し第1選択であり、副反応の問題のある薬物療法を第2選択と考える。これは今回の新型コロナウイルスによるパンデミックに対する策も同様である。

国際オーソモレキュラー医学会では2019年12月に発生した新型コロナウイルス感染に対し、1ヶ月後には新型コロナの感染ならびに重症化予防のために下記の栄養素の摂取を提唱している。

(1) ビタミンC	3g/日 以上 (分服)
(2) ビタミンD	2,000IU/日 1日5,000IUで開始、3週目から2,000IUに減量 5,000IUは125μg、2,000IUは50μgに相当
(3) 亜鉛	20 mg /日
(4) マグネシウム	400 mg /日
(5) セレン	100 μg /日

また軽症入院患者にはIVC12.5g、重症患者にはIVC25gを提唱している。この18ヶ月の間に、国際オーソモレキュラー医学会による提唱は、多くのエビデンスによって裏付けられている。ビタミンCの抗酸化作用は新型コロナ感染患者の回復速度を70%以上増加し、亜鉛は細胞内のウイルスの複製を抑制、ビタミンDはサイトカインストームを防ぐ。なお、日本人では新型コロナの予防のために、低下或いは欠乏傾向のあるビタミンC、D、亜鉛の三つの栄養素の積極的な摂取が必要であると考えられる。

講演では新型コロナ感染の栄養療法、コロナ後遺症、ワクチン後遺症などについて最新知見を述べる。

略歴

1976年 杏林大学医学部卒業
1980年 杏林大学大学院医学研究科修了・医学博士
1984年 米国トーマス・ジェファーソン大学リサーチフェロー（～1986年）
1997年 杏林大学医学部第2内科 助教授
2000年 杏林大学保健学部救急救命学 教授
2003年 点滴療法研究会 会長
2008年 国際統合医療教育センター 所長
2012年 国際オーソモレキュラー医学会 会長
2017年 一般社団法人日本オーソモレキュラー医学会 代表理事

エクソソーム診断と治療の最前線： 先制医療の要となるエクソソーム医療の未来を探る

座長 田中 善



東京医科大学 医学総合研究所
分子細胞治療研究部門 教授

落谷 孝広

疾患を早期に発見して、早期に治療介入する、これこそ先制医療の一つの基本であり、がんなどの疾患による死亡率を低減させ、医療費の逼迫を改善する方策である。

そのためには早期に発見する新しいリキッドバイオプシーの構築と、未来型の医薬品創薬が必要である。

近年、再生医療の分野を中心に、幹細胞などが分泌する細胞外小胞の一種であるエクソソームに注目が集まっている。

このエクソソームは、例えば間葉系幹細胞の培養上澄中に含まれており、医療分野での活用が望まれている。ただし、エクソソームあるいはエクソソーム様の小胞を分泌するのはこうした幹細胞だけではなく、食品として扱われている、フルーツや植物、藻類（原生動物界）などにも広く存在し、それらのエクソソーム様小胞体は、やはり多くの生物学的な活性を有することが多く報告されつつある。

これからの先制医療の新体系の構築には、こうした哺乳類のエクソソームはもちろん、バクテリアを含む多くの生物種のエクソソーム機能発掘の努力が必要となってきた。また哺乳類のエクソソームは、疾患診断のツールとして、リキッドバイオプシーの隆盛と共に進化している。

本講演では、こうしたエクソソーム診断と治療の最前線の研究を紹介すると共に、エクソソームが担う先制医療の未来を展望する。

略歴

1988年：大阪大学大学院博士課程修了（医学博士）、同年大阪大学細胞工学センター文部教官助手（肝細胞がん、肝炎の研究）
1991年：米国ラホヤがん研究所（現・SFバーナム医学研究所）ポストドクトラルフェロー（神経分化の研究）
1993年：国立がんセンター研究所主任研究員
その後、同分子腫瘍学部長、がん転移研究室独立室長を経て、2010年から国立がん研究センター研究所分子細胞治療研究分野、分野長。
2018年から東京医科大学・医学総合研究所、教授。

早稲田大学客員教授、東京工業大学客員教授、星薬科大学客員教授、昭和大学歯学部客員教授、慶應大学薬学部客員教授を兼任。
また、2017年より国立台湾大学の特別教授に就任。

現在、日本癌学会評議員、ISEV（細胞外小胞国際協会）役員、JSEV（日本エクソソーム協会）の理事長、JEVのAssociate Editor, Cancer ScienceのAssociate Editorなどの学会・研究会の役員を務める。

2019年・2020年と連続でWeb of Scienceが発表するHCR（世界1%）に選ばれて表彰されている。

“知と実践の融合”に基づいた医工連携の取り組み

キーワード ニューラルネットワーク, X線画像解析, ATMT法による疲労の測定

座長 萬 憲彰



鳥取大学工学部
先端融合研究センター長

岸田 悟

本講演では、胸部X線写真における異常部(早期肺がん等)の検出例や、疲労の知覚・認知的指標であるATMT (Advanced Trial Making Test)法の開発等について紹介する。

ニューラルネットワーク(NN: Neural-Network)とは、狭義には人間の脳に限定した情報処理機能を工学的に活用する手法の一つとして定義される。NNの特徴は、①人間の脳が行う情報処理を模倣する、②超並列分散処理をする、③学習をすることである。③の学習は、遺伝子の変化による進化段階の学習、ニューロン結合網の変化による発達段階の学習や、シナプスの変化による日常の学習からなる。

X線写真の解析に用いた階層型NNでは誤差逆伝搬法の学習アルゴリズムが使用された。このNNは誤差二乗和が収束して極小値となることが数理的に証明されている。詳細な部分については省略するが、教師信号に何をを用いるかによって解析ソフトの性能は決まる。例えば、胸部X線写真に関して優れた読影技術を持つ医師が示した異常部やX線CT装置で示された異常部を用いれば、10mm以下の大きさの早期肺がんを検出することが可能となった。

学習に用いたX線写真はもとより、未学習のX線写真でも異常部を見つけることができる。医療画像における鉄則「異常部を正常部としてはならない」を遵守するためには閾値を下げることで対処できる。また、見逃した例があれば、そのデータを用いて再学習することによってより高性能な胸部X線写真・解析システムを構築することができる。

さらに、アナログからデジタル信号の変換技術はデータの高速通信はデータの検索、管理や処理などを容易にする。本研究は更なる高性能化を目指して、胸部X線CT装置を持たないあるいは普及していない国内外の医療機関に解析結果を提供することにより、早期肺がん等を発見し、より多くの国内外の癌難民を救うことができると考えている。

また、X線写真の解析以外に、もう一つの研究例を紹介する。近年、心身の健康不良によって引き起こされる健康被害(ヘルス・ハザード)は社会問題の一つとして注目されている。中でも、慢性疲労は「疲労の医学」や「健康科学」の観点から重要となってきた。疲労の程度を計測・評価するために、生化学的指標(唾液(メラトニン・セロトニン等)、尿、血液等は免疫学的疲労(バイオマーカー)、生理学的指標(心拍数、体温、血圧、呼吸数等)や知覚・認知的指標(フリッカー値、TMT法)は用いられてきた。

“脳と疲労”に関する最近の研究から提案された疲労の計測法であるATMT法は“慢性疲労症候群患者”と“健康者”を区別できる方法として知られている。制作した解析ソフトを用いて疲労の認知的指標であるフリッカー値とATMT法の結果を調査し、ATMT法でも疲労の程度が評価できることが期待される。ATMT法の結果を生化学的、免疫学的や生理学的指標との相関関係を調べることにより、慢性疲労症候群などを早期発見し、健康被害(ヘルスハザード)を防ぐことができると思われる。

略歴

昭和50年3月	鳥取大学工学部電子工学科卒	平成19年10月1日	鳥取大学・副学長(9年間)“教育組織”担当など
昭和52年3月	鳥取大学大学院工学研究科電子工学専攻・修士	平成20年4月1日	工学部附属電子ディスプレイ研究センター長(6年間)の創設
平成元年9月	学術博士(神戸大学)		鳥取大学附属イノベーション科学センター長(6年間)
平成10年11月	文部省在外研究員・留学 英国ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所 (客員教授・10カ月間)	平成23年10月	“ニッセラ・センサー”寄附講座・世話教員(2年間)
昭和52年4月11日	鳥取大学工学部・助手	平成25年1月	工学部附属先端融合研究センター長(約4年間)の創設
平成2年6月1日	同大学同学部・助教授 昇任	平成30年3月	定年退職
平成17年2月1日	同大学院工学研究科・教授	平成30年4月	鳥取大学名誉教授、鳥取大学工学部・特任教授
平成19年4月1日	工学部・副学部長“評価”担当(1年間)	現在に至る	

医師が知らない動物の先端がん治療の世界

～ インドシアニンググリーン修飾リポソームを用いた光線免疫療法 ～

座長 田中 善



鳥取大学農学部共同獣医学科
教授

岡本 芳晴

演者：岡本芳晴(※1)、菅波晃子(※2)、田村 裕(※2)

(※1)鳥取大学農学部共同獣医学科、(※2)千葉大学大学院医学研究院生命情報科学

令和2年度の統計によると、現在国内には犬が848万頭、猫が964万頭飼育されている。近年、ワクチンの普及、飼育環境の改善等により、犬猫の平均寿命は伸び続け、令和2年度の犬の平均寿命は14.48歳、猫は15.45歳である。高齢化に伴って、心臓疾患、腫瘍、認知症等の病気が増加してきている。特に腫瘍に関しては、犬の場合10歳以上では約4割が腫瘍に罹患している状況である。

医学同様、獣医学においてもがんの標準治療は外科手術、放射線療法、化学療法である。しかし、これらの標準的治療では全てのがんを制御することはできない。欧米と違い、日本ではほとんどの飼い主が安楽死を選択しない。そのため、新しいがん治療に対しては積極的である飼い主が多い。

演者らは、2010年にインドシアニンググリーン(ICG)をアルキル鎖で修飾したICG誘導体を脂質二重膜に組み込んだリポソーム製剤 (ICG-Lipo) を開発した。本剤はEPR効果により腫瘍組織に選択的に分布することから、効率的な局所抗癌剤治療ができ、併行してICGの光特性(発熱、活性酸素誘導)による温熱療法および光線力学療法が可能である。

2013年より犬猫の自然発症腫瘍に対して本法を実施し、リポソームに内包する抗がん剤等を検討してきた。

今回、動物の自然発症例に対する本法の成績についてその概要を報告する。

略歴

1. 学 歴	昭和58年3月 北海道大学獣医学部獣医学科卒業 昭和58年4月 北海道大学大学院獣医学研究科予防治療学専攻修士課程入学 昭和60年3月 同上修了 昭和60年4月 北海道大学大学院獣医学研究科予防治療学専攻博士後期課程入学 昭和62年3月 同上退学	【学位論文】 「天然多糖β-キチンの創傷治癒促進機構解析とその臨床効果」 (北海道大学) 1993
2. 学 位	昭和58年3月 獣医学士 (北海道大学) 昭和60年3月 獣医学修士 (北海道大学) 平成 5年9月 博士(獣医学) (北海道大学) (番号4383)	【専門】 獣医外科学 (小動物外科専門員)
3. 職 歴	昭和62年3月 鳥取大学助手農学部 平成 2年4月 山口大学大学院連合獣医学研究科併任 平成10年8月 鳥取大学助教授農学部 平成15年4月 鳥取大学教授農学部 平成16年4月 鳥取大学農学部獣医学科獣医神経病・腫瘍学研究室主任併任 平成25年4月 鳥取大学農学部共同獣医学科獣医外科学研究室主任(獣医神経病・腫瘍学研究室主任併任) 平成27年4月 鳥取大学農学部附属動物医療センター長併任(～平成29年3月) 令和 2年4月 鳥取大学染色体工学センター教授併任 大阪大学大学院工学研究科招へい教授併任	【主な研究テーマ】 がんに対する先端的治療 (がん免疫療法、光線温熱化学療法等) の開発 内視鏡下手術の獣医臨床応用 各種サプリメントの生物効果機序の解明 オゾン水の獣医臨床応用
		【所属学会】 日本獣医学会(評議員)、日本獣医麻酔外科学会、日本キチン・キトサン学会、 がんワクチン療法研究会、日本内視鏡外科学会、日本小動物獣医学会、日本光線力学学会 (理事)、日本レーザー獣医学研究会(会長)、光線温熱療法研究会(会長)、 日本獣医再生医療学会(理事)、比較統合医療学会(理事)
		【業績】 著書：8編 原著(査読あり)：176編 その他の論文(査読なし)：154編 総説：8編 学会発表(過去5年間)：108回 特許取得：13 外科手術用ビデオ作製：36本

統合腫瘍治療における光がん免疫療法の役割

座長 田中 善



医療法人 医新会 よろずクリニック
理事長

萬 憲彰

現在行われている標準治療におけるがん治療は目覚ましい進歩を遂げてきたが、ステージ3, 4といった進行がんに対してはいまだ良好な成績を出しているとは言い難い状況である。そのような状況を打破するには抗がん剤や放射線治療だけではなくブレイクスルー的な治療法が期待されてきた。

抗がん剤治療や放射線治療はがんを破壊する目的としては効果的であるが、患者の免疫を考える上では攻撃と同時にリンパ球等を破壊してしまうのががん免疫サイクルを考慮する場合は理想的ながん治療ではない。

現在注目されているがん治療の大半は患者の免疫機能を最大限に活用することを目的としており、樹状細胞へ対してどのようにがん抗原を認識させるかに注力すべきである。

そういった生体内ワクチンの発想を持つと理想的ながん治療は患者の免疫を傷つけることなく抗原提示する方法となり、光がん免疫療法の正にその目的を達成するに適している。

今回がん抗原を提示する方法としてICGリポソームやワクチン療法を用いて良好な結果を得た症例を経験したのでここに発表する。

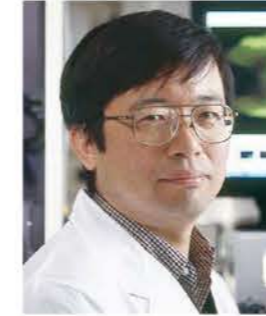
略歴

平成15年 産業医科大学 医学部 卒業
平成15年 鳥取大学医学部付属病院 第二内科入局（血液内科、腎臓内科、消化器内科など研修）
平成16年～平成20年 済生会江津総合病院勤務 消化器内科
平成20年～平成23年 十字会野島病院 消化器科医長
平成23年10月～平成30年8月 よろずクリニック院長
平成30年9月～ 医療法人医新会よろずクリニック 理事長

- ・日本先制臨床医学会 理事（統合腫瘍治療研究部会 部会長）
- ・国際水素医学研究会 副理事長
- ・日本老化制御医学会 理事
- ・日本プロテオ検査研究会 代表理事
- ・日本抗腫瘍ハーブ研究会 代表理事
- ・腸内フローラ移植臨床研究会 理事
- ・特定非営利法人M C W経営サポートセンター 副理事長

がんの近赤外光線免疫療法（光免疫療法）

座長 田中 善



NIH主任研究員、
関西医大光免疫医学研究所・所長予定者（兼任）

小林 久隆

臨床におけるがんの三大治療方法は、半世紀以上前から変わらず外科手術、放射線治療、化学療法（抗がん剤）である。これらの三大治療はすべて直接がん細胞を攻撃しまたは取り去って体の中にあるがん細胞を無くすまたは減らしていくことを目的としている合理的な方法である。

ただ、どの治療法も免疫細胞を含む正常な細胞もダメージを受けるため、がん治療による副作用の原因となり患者を苦しめている。

一方、現在のがん免疫療法は、免疫細胞ががん細胞を殺しきることによってがんを治癒させるわけであり、免疫療法自体によっては一つもがん細胞が殺されることはない。がん細胞を減らしながら抗腫瘍免疫を高めることを同時に行うことが理想のがん治療である。

そこでこの講演では、我々が開発した分子特異性を重視したがん細胞選択的癌治療「近赤外光線免疫療法（光免疫療法）」について紹介したい。

光免疫療法は、抗体を用いた細胞選択性と光化学反応による急速かつ強力な分子変形に基づいて、がん細胞のみを効果的に狙い撃ちして免疫原性細胞死を起こす。また、免疫細胞を含む正常細胞を傷つけることがないため、壊した癌細胞に対する免疫を非常に効率よく誘導することができる。

従って、がん細胞の数を減らしながら合理的に免疫力を強化して短期間がんを根治できる従来のがん治療とは全く異なるコンセプトのがん治療法である。

さらに免疫抑制細胞を標的として腫瘍内で壊すことによる免疫増強など、光免疫療法には固有の優れた特長がある。この方法では、一か所を治療することによって転移にも合理的に効果があり、また免疫記憶を誘導することによって再発を抑制する光免疫療法の実現をも可能にできることは動物実験では実証できている。

最後に、光免疫療法の臨床試験の進行状況についても最新情報を紹介したい。

略歴

1987年 京都大学医学部卒
1995年 京都大学医学研究科博士課程修了、医学博士取得
1995年 Visiting post-doctoral fellow, Nuclear Medicine Department, Clinical Center/NIH
2001年 Senior fellow, Metabolism Branch, NCI/NIH
2004年 Chief Scientist, Molecular Imaging Program, NCI/NIH
2015年 Senior Investigator (Tenure), Molecular Imaging Program, NCI/NIH

【主要受賞等】

2001年 日本核医学会賞
2014年 NIH Director Award (Merit award)
2016年 CCR FLEX Award, Bethesda, MD, February 12, 2016
2017年 NCI Director Award (Personal award)
2016-2020年 Federal technology transfer award, Bethesda, USA

日本先制臨床医学会 第4回学術大会 特別企画

パネルディスカッション 「次世代の光免疫療法」

パネリスト



小林久隆 先生



萬憲彰 先生



田中善 先生



岡本芳晴 先生

2021/11/20 17時頃スタート
大崎ブライトコアホール

モデレーター



福沢嘉孝 先生

【メモ欄】

【メモ欄】

動き始めた遺伝子治療

座長 萬 憲彰



株式会社StateArt
CEO

石川 貴大

がんは長年日本人の死因第1位であり、その数は年々増加傾向にあります。一般的ながんの標準治療は手術、放射線療法、化学療法の3つであり、標準治療の基準に当てはまらず治療を受けることのできないいわゆる「がん難民」の増加も問題視されており、第4の治療法の確立が求められています。

遺伝子治療は近年世界においてめまぐるしい成果を上げています。特にレンチウイルス改変による技術向上は目を見張るものがあり、iPS細胞の作製過程やCRISPR-Cas9を使ったゲノム編集など幅広い研究領域で利用されています。安全性と遺伝子導入効率、長期発現能力が評価されており、造血幹細胞遺伝子治療やCAR-T療法等の臨床に実際に使用され始めています。

世界的には遺伝子治療に用いられる承認製剤が多数販売されており、日本でも遺伝子治療製剤がここ数年で徐々に認可され始めています。ゲノム編集技術など革新的な技術も次々と開発されており、再生医療も含めてまさにこれからの医療の中心的存在になろうとしています。さらには新型コロナウイルスに対応するワクチン開発においても遺伝子治療技術は中心となっており、まさに全世界レベルで開発競争も行われています。

20年以上バイオベンチャーを経営してきた観点から、そして自身が運営するクリニックや全国で提携しているクリニックでの状況などもふまえて、がんを中心とした遺伝子治療の現状、大学と連携して行なっている非ウイルスベクターの開発状況、そして世界で行われている遺伝子技術開発の今後の可能性などについてお話しします。

略歴

- 1999年 東京理科大学基礎工学部生物工学科卒業
- 2001年 横浜市立大学大学院医学研究科医科学専攻在学時に遺伝子解析会社設立
- 2001年 株式会社ディーエヌエーバンク CEO就任
- 2015年 株式会社StateArt CEO就任
- ～現在至

がんは切っても捨てるな、それが自分のがんと闘う武器になる！～その2～

座長 萬 憲彰



セルメディシン株式会社
代表取締役社長

大野 忠夫

本会第2回大会（2018.11.11）で基調講演を行ったときの演題が「がんは切っても捨てるな、それが自分のがんと闘う武器になる！」であった。その際に紹介したのが、がん患者自身のホルマリン固定・パラフィン包埋がん組織を原材料とした、がん再発・転移予防、微小がん治療のための「自家がんワクチン」(AFTV)である。

術後肝細胞がんでは、ランダム化比較対照試験 (Phase IIb) の結果、無再発生存期間(PFS)、全生存期間(OS)で統計学的な有意差が出ている。症例報告レベルでは、肝がん、脳腫瘍、腹膜がん、腎盂がん、乳がん、卵巣がん、子宮頸部小細胞がんが劇的な効果が観察された例を紹介した。今回は、脳腫瘍のうち最悪性である膠芽腫(GBM)に絞って、その後の研究の進捗状況を中心に報告する。

膠芽腫は、いかなる手術も“絶対非治療切除”に終わるため、MRI画像上では全部取り切ったはずでも、再発は避けられない。現在の術後標準治療 (Stuppレジメン：放射線治療+テモゾロミド治療) では、初発GBM術後の中央値 (m) でいうmPFSが6.9ヶ月、mOSが14.6ヶ月、3年生存率は20%程度である。しかし、これにAFTVを上乗せ治療した2本の単群の臨床試験 (Phase I/IIa) では、mPFSが7.6、8.2ヶ月、mOSが21.4、22.2ヶ月と延長傾向が見られた。特に2本目のUMIN000001426試験では、3年生存率が38%となり、安全性についても問題はなかった。本邦で承認されている医療機器オプチューンによる上乗せ治療では、3年生存率が25%に留まる。そこでランダム化比較対照試験 (UMIN000010602) を実施したところ、AFTV群と対照群の間では有意差がなかったが、全摘した症例の間では差がある傾向が認められた。

筑波大学では、初発膠芽腫277例についてレトロスペクティブに解析したところ、Stuppレジメンに何らかの免疫療法を併用した39例 (うちAFTV併用例は31例) で、全摘例のmOSが36.9ヶ月に達し、5年生存率が43.3%となっていた。同時期の全摘標準治療群ではmOSが25.7ヶ月で有意差が認められた (Ishikawa et al. BMC Neurol 2021;21:282)。そこでAFTVの脳腫瘍版にCellm-001との開発番号を付し、現在、本邦の11大学による医師主導治験phase III試験に入っている。

なお当社では、別途、自由診療による自家がんワクチン療法も継続してサポートしており、実施病院・クリニックは既に国内84ヶ所に達している。

略歴

- 1966年 東京大学薬学部卒
- 1971年 東京大学大学院薬学系研究科卒 薬学博士
- 1971-73年 米国ペンシルバニア大学医学部 研究員
- 1973-75年 北里研究所 臨時職員
- 1975-85年 科学技術庁放射線医学総合研究所 研究員
- 1985-2003年 理化学研究所ジーンバンク室 (細胞開発銀行) 室長
- 1999-2002年 中国・広東省広州市・中山医科大学付属第一医院肝胆外科 客員教授
- 2001年-現在 セルメディシン株式会社設立 代表取締役社長
- 2003-2013年 早稲田大学 各務記念材料技術研究所 → 理工学術院 客員教授
- 2005-2019年 日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座 客員教授
- 2010-2019年 福井大学医学部内科学(2)領域 特別研究員

名誉会員：日本組織培養学会、米国臨床腫瘍学会 (ASCO)
正会員：日本癌学会、日本癌治療学会、米国癌学会 (AACR)、
がんワクチン療法研究会、日本がん免疫学会、
日本バイオセラピー学会

ガンに対する低分子化フコイダン、を中心とした 統合医療の臨床改善報告

キーワード 代替医療、低分子化フコイダン、Ⅳ期乳癌、子宮癌、前立腺癌、Ⅲ期大腸癌、Ⅳ期甲状腺癌、アポトーシス、星状神経節ブロック、糖質制限食



西本クリニック
院長

西本 真司

座長 田中 善

要旨：癌に対する統合医療的なアプローチを長期行う中で、免疫上昇のテーマとして、気功（内気功、外気功）、笑い、自律訓練法、イメージ法、漢方、サプリメント、水、食事法など様々な研究、実践を進めてきた。

研究が進む中で、約26年前活性水素の研究の第一人者である九州大学農学部(故)白畑名誉教授に縁を頂き水の共同研究を行ってきた。その白畑から約17年前に、低分子化フコイダンの情報をえて、それまでの臨床に加えることで数例ではあるが、良好な経過の症例を2004年、韓国開催の国際生命情報学会で報告した。

2015年同学会での論文で数例追加報告した。

今回、著効5症例、延命1症例、報告を行う。症例の内訳は、以下である。

- ①79歳男性……………Ⅰ期前立腺がん症例（診断後18年目）
- ②41歳女性……………Ⅰ期子宮頸がん（診断後19年目）
- ③64歳女性……………Ⅱ期乳がん（診断後9年目）
- ④31歳男性……………Ⅲ期大腸癌、腹腔内転移症例（診断後9年目）
- ⑤61歳女性……………Ⅳ期甲状腺がん頸部リンパ節転移（診断後13年目）
- ⑥延命症例48歳女性…Ⅳ期乳がん・骨、肺、転移（診断後3年）

症例③・⑤からは、アポトーシスの指標の抗p53抗体が明らかに低下を認めた。

症例①・②からは、本人家族からのどうしても三大療法を受けたくない理由があり、症例4も緊急腹腔鏡手術後の抗がん剤を受けたくない理由ありでの、断食、糖質制限中心の治療のスタートであった。

症例⑥は、治療中のサイトカイン変化（TNF- α 、インターロイキン12、インターフェロン- γ ）、骨シンチ、PET検査、腫瘍マーカーの変化をすべて今後に役立てるために残してもらえた。

その経過からのメッセージを今後の医療の良き提言として様々な面で学び、経過良好のケースから、統合医療の癌に対するアプローチ25年以上行っている当院の今の現場を考察し、報告していきたい。

略歴

昭和55年3月	和歌山県立桐蔭高等学校卒業	平成3年 4月	山鹿市立病院麻酔科勤務
昭和57年4月	近畿大学医学部入学	平成6年 4月	熊本大学医学部附属病院麻酔科勤務
昭和63年3月	近畿大学医学部卒業	平成7年 4月	帯津三敬病院心理療法非常勤勤務
平成元年 5月	熊本大学医学部附属病院麻酔科入局	平成8年 6月	西本第2クリニック開院
	熊本大学医学部附属病院中央手術部勤務	平成18年7月	西本クリニック開院
平成2年 1月	熊本赤十字病院麻酔科勤務		

経動脈性治療が持つ潜在的能力の実証

キーワード 動注塞栓術、カテーテル治療、がん治療

座長 萬 憲彰



医療法人 龍志会 IGTクリニック
理事長

堀 信一

がん治療における全身化学療法の目的は、がん病巣の消失とともに体中に存在している可能性のある転移巣を消滅させ、最終的にはがん撲滅を図ることにある。

しかしながら、抗がん剤の副作用等の問題で目的通りにはならないことは周知の事実である。そこで分子標的薬や免疫チェックポイント薬の登場で、一歩進んだ全身化学療法が導入されているが、副作用の問題は解決されたわけではなく、新たに必要となった高額な診療費を誰が負担するのかという社会問題も抱え始めている。また、診療期間も長くなる傾向にあり、新たな副作用とともにがん患者のQOLを保つのが難しい状況が生まれつつある。

一方、がんの局所治療は医療技術の進歩とともに多くの方法が導入されはじめており、経動脈性の治療もその一つである。

経動脈性の治療（動注塞栓術）は画像診断技術の進歩、マイクロカテーテルの改良、球状塞栓物質の登場、新たな薬剤の導入により、この10年の間に長足の進歩を遂げた。固形腫瘍に対する経動脈性の治療は、今や体中のすべての腫瘍に応用できる。標的腫瘍だけを治療するために、抗腫瘍効果は全身化学療法に比べ良好で、副作用も少なく臨床的有用性は確実に優れているが、局所だけを治療し、全身の転移病巣に対して治療を行わないため、根治性はなく、あくまでも対症療法の位置づけに止まっている。

しかしながら、生存率を例にとると、全身化学療法に勝るとも劣らない予後延長効果を持つことが知られ始めている。これは全身化学療法に比べ全身へのダメージがないためと言われているが、最近の知見では、局所をたたくことで壊死した腫瘍からがん抗原の提示が起こり、転移病巣の増大抑制、縮小が得られる可能性があることが示され始めている。

古くは『アブスコパル効果』として知られている現象であり、今後、この生体反応を効率よく起こさせ、体に負担のないがん治療を研究開発することで、全身化学療法の抱える問題点を解決し、無駄に苦しむがん治療からの脱却の道を示したい。

略歴

昭和52年 7月	大阪府立成人病センター放射線科 採用
昭和55年 6月	大阪大学医学部放射線医学教室助手 採用
昭和60年 1月	スイス、ベルン大学医学部放射線科常勤医師 採用
昭和62年 4月	八尾市立病院放射線科部長 採用
平成元年 4月	大阪府立成人病センター放射線科医長 採用
平成2年 9月	大阪大学医学部放射線医学教室講師 採用
平成7年 5月	市立泉佐野病院放射線科部長 採用
平成14年11月	ゲートタワーIGTクリニック 院長
令和2年 4月	医療法人龍志会 理事長
現職	医療法人 龍志会 IGTクリニック 理事長

資格：

平成3年	放射線科専門医
平成14年 6月	日本IVR学会 指導医

培養上清治療とは何か

キーワード 培養上清、幹細胞、治療実績、培養上清治療



名古屋大学
名誉教授

上田 実

座長 田中 善

幹細胞治療は2000年初頭に始まり、現在では世界中でさまざまな難病に対して臨床研究が行われています。次々に発表される論文では幹細胞治療の有効性が示され、大きな可能性が報告されています。しかしこれらはあくまで実験的な医療であることを忘れてはなりません。

幹細胞治療をだれもが受けられる大衆医療にするには多くのハードルが残されています。なかでも幹細胞のがん化と肺栓塞のリスクは、細胞移植をおこなう限り完全にゼロにすることはできません。仮にリスクをゼロにできたとしても幹細胞の規格化、保存法、輸送法、投与法の課題が残されています。そして最後に治療費や期間という現実的な問題にむきあわねばなりません。

培養上清治療は幹細胞治療の進化系として生まれました。

培養上清治療は幹細胞治療の優れた治療効果を細胞移植なしで実現します。培養上清治療には幹細胞治療にともなう諸問題を一気に解消し、再生医療の恩恵を適正な価格で誰にも提供できる可能性があります。

本講演で培養上清治療の原理とその治療実績についてご紹介したいと思います。
乳歯幹細胞培養上清治療にご興味のある方は是非HPをご覧ください。
<http://www.saisei-ken.com>



略歴

- 1949年 大阪府生まれ
- 1978年 東京医科歯科大学卒
- 1982年 名古屋大学院修了
- 1994年 名古屋大学医学部頭頸部感覚器外科学 教授
- 2003年 東京大学医科学研究所幹細胞組織工学分野 客員教授
- 2011年 ベルゲン大学（ノルウェー国）客員教授
- 2015年 名古屋大学名誉教授
- 2020年 ベルゲン大学附属病院・臨床試験特別アドバイザー
「間葉系幹細胞を用いた多発性硬化症の治療」

循環腫瘍細胞CTC検査からみたがん治療の提案 ～ CTCゼロを目指して、転移再発を防ぐ～

キーワード 循環腫瘍細胞、Circulating tumor cells、CTC、がん治療



喜多村クリニック
院長

喜多村 邦弘

座長 田中 善

循環腫瘍細胞（Circulating tumor cells; CTC）を検査し、がんの特徴を把握することで、標準的ながん治療に加え、新たな治療を患者さんに提案することができます。

一般的に腫瘍が約2mm以上の大きさになると、周囲に腫瘍血管ができはじめ、がん細胞が血管内に入り血液中めぐりだす可能性があると考えられています。この血液中を流れているがん細胞が循環腫瘍細胞CTCです。

同定されるCTCはがん幹細胞（cancer stem cell; CSC）の特徴を持っており、転移能を有する悪性の高い細胞とされています。この検査は、血液25mlを採血し検査する、リキッドバイオプシーです。

CTCの血液単位体積当たりの個数（濃度）やマイクロアレイ検査で、がん関連の遺伝子の発現を見ることにより腫瘍増殖能・細胞周期・血管新生・アポトーシス・転移能・自己修復能・薬剤抵抗性・薬剤代謝・分子標的・腫瘍マーカーなどの情報を把握することで、がんの特徴を理解し治療を選択する判断基準を得ることができます。

化学療法剤や分子標的薬のCTCへの感受性試験や薬剤耐性試験を行うことで、効果的な薬剤を的確に選ぶことができます。天然成分(Natural substances)の増殖抑制・アポトーシス誘導・免疫活性化などのCTCへの感受性を知ることによって、天然成分を使いがんを治療する際に的確に選択することができます。

また、新しい治療としてアポトーシス関連の遺伝子情報よりアポトーシスを促進するアンチセンス・オリゴヌクレオチド療法の適応や、免疫チェックポイント阻害剤の適応を判断できるなど、がん患者さんおひとり、お一人にあった個別化治療を考える上で有用な情報を得ることができる検査です。

このセッションでは、CTC検査の全体像をお話しいたします。
ご興味のある方はメールをいただければ幸いです。

- 喜多村邦弘メールアドレス：kunihiro@kitamura.or.jp

略歴

- 川崎医科大学卒業。福岡大学大学院医学研究科修了。医学博士。
- 福岡大学筑紫病院外科勤務を経て2002年より喜多村クリニック院長。
- がん患者さんに、勇気と希望を与えることを使命とし、副作用がなく、元気に生活できるがん治療を実践している。
- 著書に「あなたはなぜ、がんを治したいのですか？」（主婦の友社）がある。

シリコン製剤による酸化ストレスの抑制と酸化ストレス性疾患の予防・治療



大阪大学産業科学研究所
特任助教

小林 悠輝

座長 田中 善

我々が高純度シリコン粉末から加工に成功した新規素材である「シリコン製剤」は、弱アルカリ領域の水と反応して大量（～800mL/g）の水素が24時間以上にわたり発生する。水素は酸化力の最も強い活性酸素であるヒドロキシルラジカル（OHラジカル）との反応によりこれを消去し、体内の酸化ストレスを低下させる。

シリコン製剤と水の反応はpHが上昇すると水素発生量及び水素発生速度ともに大きく上昇するが、酸性領域において水素発生反応は進行しない。また水素発生反応の前後において水溶液のpHは変化しない。以上の実験事実からシリコン製剤と水の反応による水素発生の反応式は次式で与えられる。



シリコン製剤と水溶液中の水酸化物イオンが反応することにより、シリコン製剤の表面に酸化シリコン膜と水素と電子が生成する(反応1)。次に生成した電子は水を分解し水酸化物イオンと水素が生成する(反応2)。反応式1と2を合わせた全体の反応式が3である。水素発生反応後のシリコン製剤の表面観察から、表面領域のシリコン原子に弱く結合した水素原子が多量に存在することが分かった。また、in vitroの実験であるが、水素分子とOHラジカルは室温程度ではほとんど反応しないこともわかった。これらの実験結果より、シリコン製剤の表面領域に水素原子が生成し、その一部は生体分子へ吸着または生体分子の還元が起こると予想される。このようにして還元力が増強した生体物質が体内を循環して、OHラジカルと反応してそれを消滅させると考えられる。

シリコン製剤の主成分であるシリコンと反応生成物のシリカともに無毒であり、経口摂取が可能である。シリコン系素材は粒子サイズ及び粒子形状が毒性を決定づける。我々が作製したシリコン製剤は凝集体サイズが1 μm以上であり、角のない球形となっている。これによりシリコン製剤は生体内へ吸収されず、また毒性が発現しない。

2,000mg/kg・日のシリコン製剤をラットに摂取させた91日間反復経口投与毒性試験及び遺伝毒性試験とも異常は全く観測されなかった。

動物実験において抗酸化力測定（BAPテスト及び尿中8-OHdG）からシリコン製剤を経口摂取した群においては他群よりも有意に酸化ストレスが低下していた。掌から放出されるOHラジカルを直接観測するレーザー誘起蛍光法を用いて、シリコン製剤がOHラジカルの放出を顕著に抑制することを観測した。また動物実験によって、シリコン製剤の摂取により慢性腎不全、急性腎不全、糖尿病、アトピー性皮膚炎、潰瘍性大腸炎、パーキンソン病等の予防及び治療ができる可能性が示された。

略歴

2021年度 大阪大学 産業科学研究所 特任助教

体内水素発生剤ソレザウス®3000の腸内環境および自然免疫環境に及ぼす影響



医療法人 桂名会 木村病院
院長

木村 衛

座長 田中 善

体内では、呼吸、代謝、紫外線照射等の様々な要因によって、活性酸素の一種であるヒドロキシルラジカル(OHラジカル)が常時発生している。ヒドロキシルラジカルは、活性酸素中最も高い酸化力を有しており、DNA、RNA、脂質等を酸化して、種々の酸化ストレス性の疾病の原因の一つとなっている。水素はヒドロキシルラジカルを選択的に除去すること、また医療に有用であることが多く報告されている。ソレザウスは、シリコン製剤であり経口摂取した場合、pHの低い胃内では反応せず、唾液でアルカリ性環境となる腸内で水素発生反応が起こる。シリコン製剤1gから400mL以上の水素が20時間以上持続的に発生する。

腸内環境の悪化に伴い腸内細菌によりトリプトファンから産生されたインドールは、一部腸管から吸収され、肝臓で硫酸抱合を受けてインドキシル硫酸となり、尿から排泄される。尿中のインドキシル硫酸(インジカン)を測定することにより、腸内環境を評価することが可能である。プテリジン誘導体は葉酸と葉酸補酵素の中間代謝物であり、プテリジン誘導体の一つであるネオプテリンはインターフェロンγでの刺激によってマクロファージから放出される。ネオプテリンは生体内酸化ストレス、慢性炎症、自然免疫活性化のマーカーであることが報告されている。また、プテリジン類は、酸化ストレスマーカーと強く相関することが報告されている。

今回尿中インジカンと尿中プテリジンをソレザウス服用前後で測定し、腸内で多量の水素を長時間発生させるソレザウスの腸内フローラ改善に及ぼす効果を検討した。ソレザウスを1か月内服し服用前、服用1か月後、服用中止1か月後で測定を行った（測定は(株)未病マーカー研究所で実施した）。

その結果、腸内環境については、介入1か月後、11例中9例で尿中インジカン値が低下した。介入試験終了後の1か月後に測定できた7例では、3例に引き続き尿中インジカンの低下を認め、4例に上昇を認めた。自然免疫環境については介入1か月後、11例中6例で尿中プテリジンが低下したが、5例は逆に上昇を認めた。介入試験終了後の1か月後に測定できた7例では、3例に尿中プテリジンの低下を認め、4例に上昇を認めた。以上からソレザウスは、抗酸化作用により腸内環境を改善することが示唆された。

略歴

昭和59年 3月 藤田保健衛生大学医学部卒業
昭和59年 4月 名古屋第二赤十字病院内科就職
昭和63年 4月 藤田保健衛生大学助手
平成 1年 4月 木村病院副院長
平成 3年 4月 木村病院院長

ICGリポソームを使用した光がん免疫療法の可能性

座長 萬 憲彰

くまもと免疫統合医療クリニック
院長

赤木 純児

生食に溶かした1,2-Dimyristoyl-sn-glycero-3-phosphocholine(DMPC)を超音波処理によりサイズを100nmに調整し、その後、光感光物質であるICG(Indocyanine green)を混合し、ICGリポソームを作成した。

このICGリポソームは正常細胞より細胞膜の流動性の高いがん細胞にだけ蓄積するように作られており、また、EPR (enhanced permeability and retention)効果によってがん細胞だけに取り込まれる。ICGリポソームを経静脈的に投与し24~48時間に経皮的にがん組織に700~900nmの近赤外線を1時間照射する。

この方法により、著明な抗腫瘍効果が認められた2症例を紹介する。

症例①は、72歳：男性、肺癌＋縦隔リンパ節転移の患者。間質性肺炎を併発していたため、抗がん剤、分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤などは使用が困難であった。そのため、ICGリポソームを使用したひかり免疫療法を選択し、これを2ヶ月間に4回施行した。その他に高濃度ビタミンCも週1回の割合で併用した。治療2ヶ月終了後に施行したPET-CTで、複数個存在していた右縦隔のリンパ節がほぼ全部消失していた。

症例②は60歳：男性で、両肺野に嚢胞状の肺癌が多数広がっている症例である。2週間間隔でひかり免疫療法を行い、その間に免疫チェックポイント阻害剤であるオプジーボを2週間間隔で約2ヶ月間投与した。治療2か月後に施行したCTで、病変の著明な縮小を認めた。

このように、ICGリポソームを用いたひかり免疫療法は非常に有効ながん治療法と考えられる。

さらに症例を積み重ねて報告するとともに、このひかり免疫療法により免疫が実際に誘導されてそれが抗腫瘍効果に効果を発揮しているのかも報告したい。

略歴

1983年3月 宮崎医科大学卒業
1983年4月 熊本大学医学附属病院第二外科 入局
1989年3月 熊本大学院医学研究科博士課程 修了
1992年11月 米国NIH (NCI米国国立がん研究所)
(Tumor Immunology & Biology (Lab), Dr.Schlom)
1995年4月 熊本大学医学附属病院第二外科講師
2000年6月 国立病院機構熊本南病院 診療部長
2010年4月 玉名地域保健医療センター 院長
2020年2月 くまもと免疫統合医療クリニック

見えない世界の科学が医療を変える
～東洋哲学と西洋科学の統合～

キーワード 量子論、死生観、東洋哲学

座長 西谷 雅史

一般財団法人 育生会横浜病院
院長

長堀 優

私を含む西洋医学に関わる病院の医療者は、病気を悪いものとしてとらえがちです。その根底には、良いものと悪いものを厳格に分ける西洋的な二元論があります。この原理はとも理解されやすいですし、“悪い”病気をなくそう、という思いこそが西洋医学をここまで進めた原動力になったことは間違いありません。

その意味からは、死は究極の敗北、肉体の消滅そのものとあり、そこに救いは一切ありません。

しかし、そうはいつでも、我々を含め現在地球に生きている人間は、ただの一人たりとも未来永劫生き続けることなど出来ず、残念ながら死を100%必ず迎えなければならない運命にあります。従って、現代の一般的な医学常識からすれば、誰もが敗北感とともに絶望的な思いで人生を終えることになるわけです。

この医療環境のなかで、じつは、過酷な試練を敢然と受け止め、その過程で様々な気づきを得て、病気になってよかったと語ったり、死を前にしても怯まず、自分がやりたいことを貫き、ひたすら前向きに生きる患者さんたちがいることに、私は気がついたのです。人間というものは、病を得たり、死が近づいてはじめて、人生において真に大切なもの、最優先すべき自分の役割に気づくという習性があるようです。驚いたことに、このような意識の変容は、病気を治癒に向かわせたり、死を福音に変えることさえあるのです。

死を見つめるや、今この時に生きていることは決して当たり前ではないという真実が理解されます。そうすると、大どんでん返しが起こり、現在生かされていることが奇跡であることに否応なく気づかされるのです。そして、現時点で生あることに感謝し、自分に残されたかけがえのない時間を心豊かに過ごさねばと決意するに至るのです。

私は、このような勇気ある人たちを通じて、“善も悪も絶対的ではなく、時々によって移り変わる”、と考える善悪不二という東洋的な一元論が、医療の現場に必要と考えるようになりました。

今回は、このような東洋哲学をヒントに構築されたとされる量子論が、死生観にも大きな影響を与えつつある現状を含め、お話をさせていただきます。

略歴

一般財団法人 育生会横浜病院 院長。
群馬大学医学部卒業、研修医を経て昭和60年横浜市大消化器腫瘍外科学教室に入局、平成5年ドイツ・ハノーファー医科大学に留学、平成17年横浜市立みなと赤十字病院外科部長、平成20年横浜船員保険病院副院長、平成27年4月より現職。

日本臨床外科学会評議員、日本消化器外科学会指導医、日本ホリスティック医学協会理事、日本ホメオパシー協会顧問。
著書：「見えない世界の科学が医療を変える」「日本の目覚めは世界の夜明け」「日本の約束」「いざ霊性の時代へ」など。

自閉症児治療における 腸内フローラ移植（FMT）の可能性



ルークス芦屋クリニック
院長

城谷 昌彦

座長 田中 善

近年、腸内細菌のメタゲノム解析技術が飛躍的に向上したことを背景として腸内細菌叢と様々な疾患リスクとの関連が明らかになっている。本邦における自閉症児の有病率は年々増加傾向にあると言われているが、自閉症児における腸内細菌叢において特定の菌種・構成パターンの違いや多様性の乱れ（dysbiosis）があることが知られるようになってきた。

腸内フローラ移植臨床研究会では自閉症児を対象に腸内フローラ移植（以下FMT）を行い、FMTの前後での腸内フローラの変化に加え、行動の変化を客観的に評価するためにABC-J、SRS-2、GSRS(Gastrointestinal Symptom Rating Scale)を使ったほか、自閉症に多いとされる視線の合いにくさや他者への関心の低さを評価するために、注視点分布計測装置（Gaze Finder）を用いて注視ターゲットの変化を評価した。

まだ症例は少ないものの、当研究会が経験した症例の中には、FMTが自閉症に関連した症状改善に効果が示唆される例もあり、FMTが自閉症治療における選択肢となる可能性が示唆された。

今回我々が経験した症例を文献的考察を加えて報告する。

略歴

1995年東京医科歯科大学医学部卒業。
神戸大学病院内科研修医、三木市立病院内科、京都大学病院病理部、兵庫県立塚口病院消化器科医長、城谷医院理事長を経て2016年より現職。
一般財団法人腸内フローラ移植臨床研究会専務理事、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医。

新型コロナと遺伝子ワクチンの全貌

座長 田中 善



健康科学研究所・現代適塾
塾長

井上 正康

遺伝子の突然変異はランダムに起こり、多くの場合は欠陥品となり消えて行く。約3万個の塩基からなる新型コロナの遺伝子は約2週間に1回変異しながら大半が感染力を失って消滅しているが、感染力が増加した変異株は絶滅する事なく人類と共存していく。事実、130年前のロシア風邪が2019年までの旧型コロナとして、100年前のスペイン風邪もインフルエンザとして人類と共存してきた。武漢で誕生した新型コロナも、上海(G型)株、英国(α)株、南ア(β)株、ブラジル(γ)株、インド(δ)株などに変身しながら人類と共存し続けている。

新型コロナも低温低湿では体外で感染力を長期間維持できる「冬型の風邪ウイルス」であり、冬季にコロナ風邪が流行するのはその為である。お腹を冷やすと夏でも「夏風邪」に罹るが、その大半は3日寝たら治るものであった。しかし、感染力が著しく増強したδ株は、僅か2ヶ月で大半の国民に無症候感染して集団免疫を確立して急速に収束した。これは毎年2月をピークに約1千万人が発症し、数千万人以上が軽症～無症候性感染者となり集団免疫が確立されて収束するインフルエンザと同様である。突然変異により感染力が増強すると「PCR陽性波」は高くなって行くが、重症化率や死亡率は逆に低下していくのがウイルス感染症の基本である。時折、この狭間にSARSやMERSなどの強毒株が現れ、その毒性故にホストと共に消えていく。

大半のウイルスは免疫系で排除されるが、この免疫力は良い事ばかりではない。変異の激しいRNAウイルスでは特定の抗体との組み合わせで抗体依存性感染増強(ADE)が起こり、サイトカインストームを介して重症化させることがSARSの時に判明し、RNAウイルスに対するワクチン開発が凍結された。エイズ、SARS、MERS、エボラ、C型肝炎、デング熱ウイルスなどに対する安全なワクチンが無いのはADEの為である。ワクチン先進国のシンガポールやイスラエルなどでブースター接種後に感染爆発が起こっているが、これにADEが関与している可能性がある。最近、日本人患者でADE抗体が発見されたので、今後、ワクチンを接種し続けると感染爆発で死者が増える可能性がある。新型コロナの感染病態は血栓症であり、スパイク自体が血栓を誘発する毒蛋白である。このスパイクを体内で生産させる遺伝子ワクチンが毒物だった事に世界がやっと気付き始めた。今後、ワクチンの反復接種により、血栓症、血管障害、自己免疫疾患、及び時限爆発的ADEなどが深刻化する可能性があり、遺伝子ワクチンの接種を国際的に中断する事が急務である。

富岳の強烈な飛沫映像が多くの医師達に「新型コロナは空気感染する」と誤解させてマスクヒステリーを誘発させた。口腔内は自然免疫系が最も発達した場所であり、様々な生体防御因子や「神風細胞」と呼ばれる好中球が大量の活性酸素で感染防御している。口腔内は活性酸素が飛び交う過酷な細菌戦の修羅場であり、毎分数百兆個のウイルス遺伝子を断片化することが可能である。お母さんが子供の傷を舐めてやるのは無意識的感染予防法なのである。一方、歯周病患者は新型コロナに20倍も罹りやすい。新型コロナは口腔粘膜の微細な傷口から血中に入り、ACE2が多い消化管などの血管内皮細胞に感染増殖して血栓を誘起し、便と共に体外へ排出されている。事実、下水路のPCR検査で上流のクラスターを2週間早く検知でき、唾液での検査が陰性になった後も数週間陽性反応が続く事が知られており、北京空港では旅客の肛門スワブでのPCR検査が主体である。唾液のPCR検査で20サイクル(Ct値)以下で陽性になる場合は口腔内に感染力のあるウイルスが存在して飛沫感染しうるが、空気感染は主要な経路ではない。新型コロナはトイレなどの非三密空間を介して「時差感染しうる糞口感染型のウイルス」である。多くの専門家がこの事実を知らない為に全ての対策が失敗し続けてきた。この主要感染経路の遮断には、アルコール噴霧器をトイレの中に置き、使用前後に便座やドアノブに噴霧して消毒し、手を洗う事が有効である。子供や若い世代への遺伝子ワクチン接種の愚行を即時中止し、新型コロナの変異株のリスクが高まる冬季に向けて「口腔ケア、手洗い、うがい、鼻洗浄、トイレの消毒」を心掛けながら、過剰反応せずに粛々と日常生活を送る事が大切である。

【緊急メッセージ】ファイザー社mRNAワクチンは有効性も安全性も2023年5月まで不明の『第四相臨床試験薬』であり、アストラゼネカ社製DNA型は遺伝子組換え薬で極めて慎重な対応が必要である。最新情報で、①新型コロナの本質が血栓症、②スパイクが血管を障害する血栓毒(ソーク研究所&Circ Res)、③mRNAワクチンが心筋炎を誘発(Clin Inf Diseases)、④接種後死因の大半が血栓～血管障害、⑤副腎や卵巣にも集積(ファイザー社)、⑥短寿命の抗体は感染予防も死亡率低下にも無効(ファイザー社)、⑦自然感染による免疫記憶は重症化を抑制する事、⑧日本人でも感染増強抗体ADEが産生され始めたのでワクチンで被害が更に深刻化する事が危惧されているが、大半の医師はこの事実を知らずに接種している。⑨重篤副反応や死者が増えているワクチンをリスク皆無の健康児や生殖世代に接種する事は狂気の沙汰である。⑩接種後の辛い副反応には「肺CT画像と血中Dダイマー」を検査し、亡くなられた場合は「死亡時画像診断」が「病理解剖」を勧めます。欧米各国もワクチンパスポートを断念しつつあるが、未だに日本は過剰反応を続けている。マトモな教育を受けた医師は感染免疫学の基本を思い出し、国民の生命を守る為に正しく蜂起しよう！

略歴

1945年 広島県生まれ
1974年 岡山大学大学院修了(病理学)
インドペルシャ湾航路船医(感染症学)
熊本大学医学部助教授(生化学)

米国Albert Einstein医科大学准教授(内科学)
米国Tufts大学医学部教授(分子生理学)
大阪市立大学医学部教授(分子病理学)
大阪市立大学医学部特任教授(脳科学)

2011年 大阪市立大学名誉教授
宮城大学副学長(震災復興担当)
株)キリン堂HD社外取締役
腸内フローラ移植クリニック院長
健康科学研究所/現代適塾 塾長

オーバーオールヘルスのためのNMN



アクアメディカルクリニック
理事長

石黒 伸

座長 川上 智史

NMNを効果的に摂取すると、脳、心臓、腎臓、肝臓、血管、目、腸内細菌、免疫細胞、有酸素能力、代謝、生殖などの健康をUPGRADEするかもしれない。ここ数年のNMN基礎研究がその可能性を強く示唆していることを本講演で簡単にお話しします。

私は、無数に存在する健康食品（サプリメント）類を、「Therapyタイプ」と「Upgradeタイプ」とに区分してあり、NMNはUpgradeタイプの主軸にしています。

NMNは、NAD+（ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド）の前駆物質でありブースターです。そしてNAD+は体内の全細胞に必要な補酵素です。

しかし、加齢や健康状態の悪化によってNAD+レベルは、著しく低下することが知られています。エネルギー需要が著しい脳は特にその影響を受けやすいでしょう。NAD+レベルをブーストし続けることは、老化プロセスを遅らせ、年を重ねれば重ねるほど私たちの脳と、全身のセルラーヘルスをサポートするだろうと考えます。

現在、最も優秀なNAD+ブースターは、NMN（ニコチンアミドモノヌクレオチド）とNR（ニコチンアミドリボシド）です。ヒト研究はまだまだ始まったばかりですが、NMNとNRに関する基礎研究では、人間のオーバーオールヘルス向上に大きく役立つことは間違いないように感じます。

VUCA時代において、根拠に基づいた「Therapy」をするだけではSuperAgerには決してなれないでしょう。不確実ながらも、リスクとリターンと比較に基づいた「Upgrade」に積極的に投資しなければ、SuperAgerになれないばかりか、病気との縁は切れないでしょう。

略歴

1995年 東海高校 卒業（名古屋）
2002年 愛媛大学医学部 卒業
2006年 大阪大学大学院 中退
2009年 アクアメディカルクリニック（大阪）認知症に特化した在宅医療開始
2014年 コウノメソッド実践医登録
2015年 事業構想大学大学院 医療ビジネスプロジェクト研究員（東京）
2016年 HARU JUICE 開店（大阪）

唾液を用いたERBB2およびSIRT1 mRNAの
発現レベルを決定するアッセイの開発

大阪歯科大学附属病院
口腔外科第1科

山本 慎

座長 福沢 嘉孝

生活習慣病やがんの早期診断が重要である。生活習慣病やがんなどの診断のための血液検査の代わりに唾液検査を施行することは、非侵襲性と簡便性の点など多くの利点がある。

現在、唾液検査は、心不全・がん・虚血性心疾患・糖尿病・リウマチ性疾患などの全身性疾患を検出するためのスクリーニングおよび診断ツールとして広く研究されている。

また、リアルタイムPCR法は、標的遺伝子の発現レベルを参照遺伝子と比較することにより、mRNA発現レベルを定量化するために使用できるよく知られた方法である。

今回の研究では、血液サンプルの代わりに唾液を使用してがん関連遺伝子であるERBB2と老化の抑制と免疫力の改善に関連する遺伝子であるSIRT1のmRNA発現を評価するアッセイの開発を目的とした。20代の健常者を対象に、安静時かつ空腹時の血液サンプルと唾液サンプルの同時採りに採取した。

血液サンプルと唾液サンプルからRNAを抽出し、逆転写酵素を用いてcDNAの合成を行った。Step One PlusリアルタイムPCRシステム（Applied Biosystems, Inc.）を使用して、50°Cで2分間、95°Cで20秒間、続いて95°Cで1秒間、60°Cで20秒間の45サイクルで遺伝子を増幅した。

ハウスキーピング遺伝子はさまざまな条件下で安定して発現するため、内部標準遺伝子として使用した。

この研究では、内部標準遺伝子としてGAPDHとβ-アクチンを比較したところ、β-アクチンの発現量が高かったことからβ-アクチンを選択した。各サンプル内のマーカーのレベルは、比較しやすい値サイクル(ΔΔCT)法を使用して発現量を測定した。ノンパラメトリック検定の一つであるマンホイットニーU検定を適用して、唾液と血液のmRNA発現の比率を評価した。すべての分析は、Statcel 4ソフトウェア（OMS Publishing、埼玉、日本）を使用した。

今回の実験の結果では、ERBB2（ $r = 0.102$ ）とSIRT1（ $r = 0.344$ ）のそれぞれの唾液と血液の発現比率の有意な差と相関性を認めた。ERBB2は唾液腺癌に異常発現しやすく、SIRT1は、血管生物学的において重要な防御的役割を果たしている可能性があることが報告されている。

したがって、ERBB2とSIRT1のmRNA検査に関して唾液から測定された診断バイオマーカーとして有用であり、侵襲性のある血液検査の代わりに非侵襲性の唾液検査を行える可能性があることが示唆された。

略歴

平成28年3月 大阪歯科大学卒業
平成28年4月 大阪歯科大学附属病院口腔外科第一科研修
平成29年4月 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程入学
令和3年3月 大阪歯科大学大学院歯学研究科博士課程修了

Novel CTC Test followed by Iodine therapy for the terminal stage of cancer patients



元 京都大学 医学部
教授

白川 太郎

座長 川上 智史

[BACKGROUND] 5 years of survival rate of stage IV cancer patients have kept poor for these 30 years. This is mainly due to inevitability of anti-cancer drugs for them because of multiorgan metastasis. We developed a novel CTC technique to identify CTCs responsible for metastasis, and provided a method to kill those dangerous cells by Iodine therapy. [METHOD] We did 314 CTC tests, and 53 patients received it more than twice (average prognosis of 4.5 months). Our CTC tests by flouring 4cc blood of the patients into a special device with > 50,000 pores of 8μ diameters, this device can only catch CTCs. We also stained with cytokeratin and vimentin anti-bodies (see table 1). Iodine water was made of 10,000 ppm of NaI with certain numbers of additional chemicals. This clinical trial was accepted by our ethical committee.

[RESULTS] We developed a novel CTC technique to catch 95% of CTCs and identified 3 types of CTCs (see table 1). Without any therapy, type 1 cells disappeared, while all patients with type 2 cells died within a couple of months, this may be due to EMT (epithelial mesenchymal transformation) on them. We tested certain numbers of anti-cancer drugs and found that no drugs can kill type 2 cells, only stable Iodine water provided by our clinic can kill type 2 cells perfectly within two months, and 51 out of 53, the terminal stage of patients can survive more than a year.

[CONCLUSION] Novel CTC test can identify 3 types of CTCs and type 2 cells can be responsible for the poor survival of terminal stage cancer patients because they are responsible for metastasis, and anti-cancer drugs cannot kill them. It has been well-known that Iodine.

略歴

- 1983年 京都大学医学部卒業・医師免許取得。京都大学胸部疾患研究所附属病院第一内科入局などを経て、呼吸専門の内科医。
- 1984年 高槻日本赤十字病院呼吸器科入局
- 1987年 大阪大学医学部環境医学教室助手
- 1991年 オックスフォード大学医学部内部留学
- 1995年 大阪大学医学部にて医学博士号取得、大阪大学医学部環境医学教室講師、英国オックスフォード大学医学部呼吸器科講師兼任
- 1999年 ウェールズ大学医学部大学院実験医学部門助教授、中国第4軍医科大学付属西京医院呼吸科客員教授、南京医科大学国際鼻アレルギーセンター分子アレルギー部門客員教授
- 2000年 京都大学大学院医学研究科教授
- 2001年 理化学研究所遺伝子多型研究センター、アレルギー体質関連遺伝子研究チームリーダー（非常勤）兼務、理化学研究所遺伝子多型センター・機能相関グループ・チームリーダー
- 2006年 臨床研究に主眼を置き、臨床研究分野に
- 2008年 長崎県諫早市にユニバーサルクリニックを開設、院長就任
- 2013年 統合医学医師の会会長、NPO法人統合医学健康増進会理事長就任、東京銀座に医療法人白会会東京中央メディカルクリニック開設、院長就任
- 2018年 医療法人兎月会如 月総健クリニック院長就任、東京都赤坂フロイデクリニック特別顧問就任
- 2019年 福岡県福岡市「如月総健クリニック」にて、新しいCTC検査にてがん検診 末期がん治療を携わる

※各座長の経歴は44Pをご参照ください。

福沢 嘉孝

愛知医科大学大学院医学研究科（戦略的先制統合医療・健康強化推進学）
愛知医科大学病院 先制・統合医療包括センター（AMPIMEC）教授・部長
学校法人愛知医科大学 理事



- 1日目 17:10 パネルディスカッション
- 2日目 12:15 ランチョンセミナー
16:30 唾液mRNA検査

田中 善

医療法人仁善会 田中クリニック 理事長・院長



- | | |
|------------------|--------------------|
| 1日目 13:10 基調講演 1 | 2日目 9:00 低分子化フコイダン |
| 13:50 教育講演 1 | 10:00 培養上清治療 |
| 14:50 基調講演 2 | 10:30 循環腫瘍細胞CTC |
| 16:10 特別講演 | 11:00 水素発生シリコン製剤 |
| | 14:30 腸内フローラ |
| | 15:00 Covid-19 |

萬 憲彰

医療法人医新会 よろずクリニック 院長



- | | |
|------------------|----------------|
| 1日目 14:20 教育講演 2 | 2日目 8:00 遺伝子治療 |
| | 8:30 自家がんワクチン |
| | 9:30 血管内治療 |
| | 11:30 光免疫療法 |

西谷 雅史

医療法人響きの杜 響きの杜クリニック 理事長・院長



- 2日目 14:00 霊性の時代

川上 智史

東北大学大学院歯学研究科口腔解剖学分野講師 日野厚生クリニック 副院長



- 2日目 16:00 NMNの効果的摂取
- 17:00 末期がん治療他



当学術大会では感染症拡大防止の観点より、講演のリアルタイム配信も行います。(ご講演者の都合により視聴できない講演もございます。**※注1** をご確認ください。)

参加費は2日間で10,000円となります。

ご参加方法

ご準備

Zoomでのウェビナー配信を利用いたしますので、Zoom.usアプリのインストールなど(右記URL▶)視聴環境をご用意下さい。



<https://zoom.us>

お申込方法

事前に、下記URL(QRコード)より申し込みをお願い致します。



<https://jspcm.org/seminar/2361/>

折り返し事務局より請求書をお送り致しますので、**2021/11/10**までにお支払いください。

(振込確認の後、前日までに視聴のURLをお知らせいたします)

※申込時にZoomの待機室で表示される名前を記載頂きます。(当日、表示名を元に支払いが済んでいることを確認を致します)

！ご注意 お支払いが確認できていない方や別の表示名の方は参加できませんのでご注意ください。

配信の予定に関して

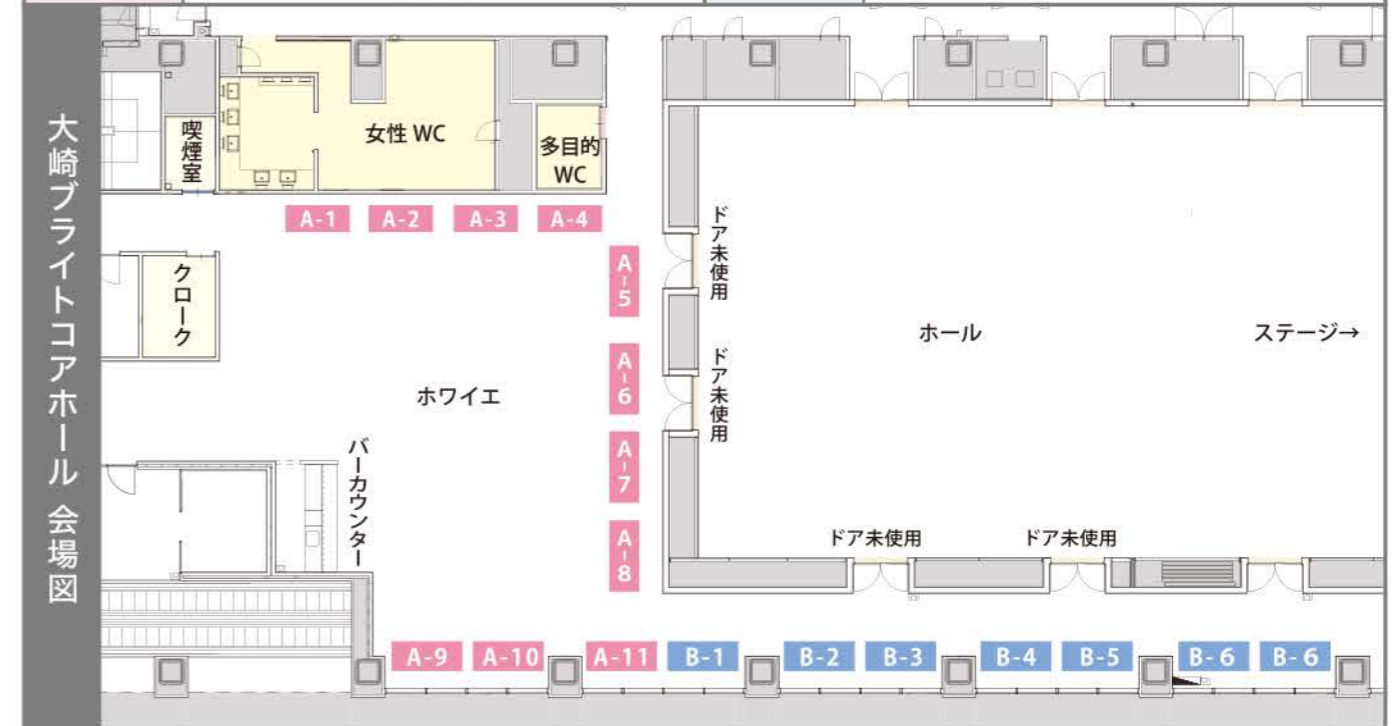
※注1

2021/11/20 登壇の小林久隆先生、特別企画のパネルディスカッションは配信は行いません。

2021/11/21 下記先生の講演は後日無料配信を行います。

- ・大野忠夫先生
- ・小林悠輝先生

Aエリア		Bエリア	
ブース番号	出展名企業名	ブース番号	出展名企業名
A-1	点滴療法研究会	B-1	株式会社SOPHIA
A-2	株式会社サルベストロールジャパン	B-2	株式会社未病マーカー研究所
A-3	第一産業株式会社	B-3	浅井ゲルマニウム研究所/先進医療臨床研究会
A-4	株式会社スピック	B-4	株式会社すかい21
A-5	有限会社ディスインターナショナル/株式会社LINK	B-5	株式会社分子生理化学研究所
A-6	株式会社BARNUM	B-6	株式会社ケニングコーポレーション
A-7	株式会社サイドランド		
A-8	株式会社ウェルネス・ワン		
A-9	株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット		
A-10	株式会社ヘリックスジャパン		
A-11	シンバイオシス株式会社		



大崎ブライツコアホール

OSAKI BRIGHT CORE HALL

〒141-0001 東京都品川区北品川5-5-15 大崎ブライツコア3F

Tel. 03-5447-7130 Fax. 03-5447-7131

URL. www.osaki-hall.jp

電車でお越しの方

JR山手線・埼京線・湘南新宿ライン
りんかい線「大崎」駅より徒歩5分

お車でお越しの方

山手通り「大崎駅前交番前」の交差点を曲がり、約250m 左手ビル

【大崎ブライツタワー】ではなく、【大崎ブライツコア】の3階です。
(スターバックスを通り過ぎて1階にセブンイレブンがある建物)
正面にある3階止まりのエレベーターエスカレーターでお越しください。



ランチョンセミナーテーマ:

「アサイゲルマニウムの有用性 ~最新研究の紹介~」

Presented by 浅井ゲルマニウム研究所/先進医療臨床研究会 座長 福沢 嘉孝

1. 臨床研究

土井山 爽太 - Sota Doiyama

ゲルマニウム (Ge) は炭素族の元素であり、金属と非金属の中間の性質を示す「半金属」に分類される。ゲルマニウムは石炭中からの抽出方法を後に浅井ゲルマニウム研究所を創設する浅井一彦が見出し、ゲルマニウムは健康に寄与する元素であると考え、体内での蓄積性のない水溶性有機ゲルマニウムの合成に着手した。

1967年にINN名: poly-trans-[(2-carboxyethyl)germasquioxane] (アサイゲルマニウム) の合成に成功し、数々の安全性試験を実施して非常に高い安全性であることが確認された。

1970年代より、医薬品を目指して数々の臨床研究が行われ (治験成分記号: Ge-132)、免疫調整作用をはじめとして、骨代謝調整作用、抗炎症作用などが確認され、近年では赤血球代謝促進作用も示され、多機能性が確認されてきた。現在は多機能性という特徴を活かし、サプリメントの素材として利用されている。

本セミナーでは1970年代より行われた医薬品開発時代のクリニカルレポートや論文を中心に、アサイゲルマニウムの有用性を紹介する。

2. 生理作用と最新研究

島田康弘 - Yasuhiro Shimada

Poly-trans-[(2-carboxyethyl)germasquioxane] (Ge-132とも呼ばれる) は免疫賦活作用をはじめ、抗炎症や疼痛抑制作用など様々な生理作用が報告されている水溶性有機ゲルマニウム化合物である。なかでも、多結晶ゲルマニウムを原料として製造される「アサイゲルマニウム」は食品原料の有機ゲルマニウム化合物として国内で唯一、第三者機関による「健康食品の安全性自主点検認証登録制度」に認証登録されており、高い安全性が認められている。

1967年にアサイゲルマニウムの合成が成功されて以来、数多くの研究が行われ、アサイゲルマニウムの多岐にわたる生理作用が明らかとなった。また近年では、重要な生体内分子と相互作用することが解明され、作用メカニズムに関する研究も進められている。

本セミナーでは、特に最近明らかとなったアサイゲルマニウムの生理作用を中心に紹介する。

株式会社 浅井ゲルマニウム研究所
Asai Germanium Research Institute Co.,Ltd.

ランチョンセミナーの
お弁当
について



ouchi gohan

あべよしこの
おうちごはん

手間を惜しまず
丁寧に手づくり

栄養の要素を
取り入れたメニュー

愛情たっぷり
育てた旬の食材

食のプロが
しっかり衛生管理

栄養価の高い
発芽玄米



阿部剛子 (あべよしこ) プロフィール

1975年山形県出身/料理家・フードスタイリスト
文化服装学院スタイリスト科を卒業後、タレントのスタイリストなどを
経てフードスタイリストとなる。炊飯器料理の第一人者として、「炊飯器
におまかせ。」(文化出版局)などの著書多数出版。一男一女の子育てを
しながら、料理家としてテレビ出演、広告、パッケージ等のフードスタイ
リングを手掛けるなど、料理に関する多岐にわたった仕事をしている。



旬の食材・畑の味

各地直送の旬の野菜や山菜、
懐かしい郷土料理も
ときどき登場します♪



ouchi gohan
からひとこと。



※からだところに栄養を※

こだわりの食材を使って
手間ひまを惜しまず、ていねいに、
毎日、心を込めて作っています♪

※安全・安心のために、できることをせんぶ。※

よく食べ、よく寝て、よく笑う。
あなたの元気のもとを、心を込めてお手伝い。
心身にいいものたくさん。
きちんとごはん、おうちごはん。

毎日の元気、つくっています。

ご予約/お問い合わせ tel. 03-3444-7732



JR恵比寿駅東口を出てまっすぐ徒歩5分

あべよしこの
おうちごはん

〒150-0013 渋谷区恵比寿1-26-19 1F

tel. 03-3444-7732

営業時間月～金・11:00～19:00

※食材がなくなり次第終了となります。
ご了承くださいませ。

www.facebook.com/yoshiko.gohan



今回のランチョンセミナーでは、
お弁当と一緒に「重水素減少水」を
お配り致します。



https://www.company.slwater.com/ddwater

DDWATER by SLW
SUPER LIGHT WATER



健やかな未来の 創造を目指して

伝統製法を活かした
非加熱のあいざめ生肝油

Integrative Medicine 先制臨床・統合医療



a synergistic effect

4億年の生命力
深海から神秘の力のおくりもの



Doctor's
サプリメント
*QRコードより
お問合せ下さい

あいざめ生肝油 深海力(うみのちから)



100粒 ¥10,800-

【臨床参加者募集中】

- ・協力医師、薬剤師、治療家の方
- ・患者様、ご家族様
- ・資料、無料サンプルをお送りします

ケニング本社までお問い合わせください
info@kenning.co.jp / 054-236-0302



樹状細胞バランス
BRMstage N



2本 ¥54,000-

Kriya@Hops
(植物特許)CBD



40mg 30錠 ¥30,000-

珊瑚焼成カルシウム
マグネシウム



15包 ¥4,860-

HHLABO
ダブルエイチラボ



90粒 ¥17,928

スクワラン100%
ビューティスクワイル



60ml ¥6,380-

特殊コラーゲン配合
グルコマイティ



150粒 ¥10,800-

進物用
東平ブランド 超高級玉露



2本 ¥10,800-

空間清浄器 j-air(ジエイ・エア)
マイナスイオン低濃度オゾン



¥151,200-

パラオ産100%
ノンジュース



500ml ¥3,960-

フルオーガニック
人参ジュース



500ml ¥3,960-

コットン100%
ファブリックケアマスク



1枚 ¥2,400-



facebook



ご登録ください

お問い合わせは
このQRより
どうぞ



株式会社ケニングコーポレーション

〒422-8035 静岡県静岡市駿河区宮竹1-14-24 TEL:054-236-0302

KENNING Corporation. Co.,Ltd.

FAX:054-238-7401 info@kenning.co.jp http://kenning.co.jp



クリニック・サロン専売品

ウェルネス・ワンの高機能サプリメント

健康であることで
内側から魅力を輝かせ
人生を前向きに



リエイジア



12月下旬
販売開始



REAGEAシリーズ商品一覧

毎日の健康が気になる方に

人間の生命活動に欠かせないエネルギー産生とNAD+の関係性に着目して開発された、ライフサポートサプリメント。

NMN30000 メーカー希望小売価格 75,600円(税込)

【名称】β-ニコチンアミドモノタクロライド含有加工食品 【原材料名】β-ニコチンアミドモノタクロライド(国内製造)/HPMC、ステアリン酸カルシウム 【内容量】38.4g(320mg×120カプセル)※約2~4ヵ月分
【お召し上がり方】1日1~2カプセルを目安に、水などと一緒にかまわずにお召し上がりください。

栄養成分表示(1カプセル(0.32g)当たり)

エネルギー	1.09kcal	たんぱく質	0.1g	脂質	0.01g	炭水化物	0.16g	食塩相当量	0.0003g
NMN / 250mg									

体脂肪が気になる方に

スリムとキレイのベースとなる「腸内環境」と「代謝」を理論的に考え、効率と持続性を追求することで理想を目指すスマートサプリメント。

NMNプラチナシェイプ メーカー希望小売価格 7,560円(税込)

【名称】植物エキス含有加工食品 【原材料名】レモンバーベナエキス末(スペイン製造)、ピフィズ菌乾燥粉末(酵母、ピフィズ菌乾燥粉末)(国内製造)、ハイビスカスエキス末(スペイン製造)、β-ニコチンアミドモノタクロライド(国内製造)/HPMC、結晶セルロース、微細二酸化ケイ素、ステアリン酸カルシウム 【内容量】37.2g(310mg×120カプセル)※約1ヵ月分 【お召し上がり方】1日4カプセルを目安に、水などと一緒にかまわずにお召し上がりください。

栄養成分表示(4カプセル(1.24g)当たり)

エネルギー	4.63kcal	たんぱく質	0.15g	脂質	0.03g	炭水化物	0.88g	食塩相当量	0.0093g
メタボレイド® / 500mg(植物エキス混合末) ビースリー® / 200mg(ピフィズ菌乾燥粉末) NMN / 100mg									

※メタボレイドはMontelceder S.L.の登録商標です。 ※ビースリーは森永乳業株式会社の登録商標です。

髪・目の衰えが気になる方に

艶、ボリューム、輝く毎日。ミネラルケアでキレイを目指す、見ても触れても幸せ気分のビューティーサポートサプリメント。

フルボ酸ミネラルビューティー メーカー希望小売価格 6,480円(税込)

【名称】フルボ酸ミネラル含有加工食品 【原材料名】フルボ酸ミネラル(アメリカ製造)/HPMC、カロチノイド、クルセチン、ステアリン酸カルシウム 【内容量】17.7g(295mg×60カプセル)※約1ヵ月分
【お召し上がり方】1日2カプセルを目安に、水などと一緒にかまわずにお召し上がりください。

栄養成分表示(2カプセル(0.59g)当たり)

エネルギー	0.74kcal	たんぱく質	0.003g	脂質	0.009g	炭水化物	0.17g	食塩相当量	0.0018g
セウミクル® / 300mg(フルボ酸ミネラル100%) FloraGLO® / 100mg(ルテイン10%含有) クルセチン / 55mg									

※セウミクルは株式会社アムドパルビューティの登録商標です。 ※FloraGLOはケシーン・インダストリー社の登録商標です。

睡眠・ストレスが気になる方に

「逃れることが難しいストレス社会を穏やかに過ごしたい」という願いにやさしく寄り添い開発された、やすらぎのサプリメント。

サフラン&ラクチウム メーカー希望小売価格 5,400円(税込)

【名称】乳タンパク加水分解物含有加工食品 【原材料名】乳タンパク加水分解物(乳由来)(フランス製造)、サフランエキス末(サフラン抽出物、デキストリン)(スペイン製造)、大麦乳酸菌培養液(国内製造)、クワンソウエキス粉末(国内製造)/HPMC、結晶セルロース、ステアリン酸カルシウム 【内容量】16.8g(280mg×60カプセル)※約1ヵ月分
【お召し上がり方】1日2カプセルを目安に、水などと一緒にかまわずにお召し上がりください。

栄養成分表示(1カプセル(0.32g)当たり)

エネルギー	1.99kcal	たんぱく質	0.23g	脂質	0.01g	炭水化物	0.24g	食塩相当量	0.039g
ラクチウム®(Lactium®) / 300mg サフランエキス末 / 30mg GABA / 30mg									

※ラクチウム、LactiumはINGREDIAの登録商標です。

免疫力・活力が気になる方に

守るチカラが必要な今だからこそ、当社が積極的に取り入れていただきたいと考える注目の成分をダブル配合した、ヘルスケアサプリメント。

5-ALA&アシスト乳酸菌 メーカー希望小売価格 10,800円(税込)

【名称】乳酸菌含有加工食品 【原材料名】乳酸菌粉末(デキストリン、乳酸菌(殺菌))(国内製造)、5-アミノレブリン酸リン酸塩(国内製造)/結晶セルロース、HPMC、クエン酸第一鉄ナトリウム、ステアリン酸カルシウム、着色料(二酸化チタン) 【内容量】18.6g(310mg×60カプセル)※約2ヵ月分
【お召し上がり方】1日1カプセルを目安に、水などと一緒にかまわずにお召し上がりください。

栄養成分表示(1カプセル(0.31g)当たり)

エネルギー	1.13kcal	たんぱく質	0.03g	脂質	0.003g	炭水化物	0.25g	食塩相当量	0.0136g
5-アミノレブリン酸リン酸塩 / 50mg アシスト乳酸菌® / 100mg									

※アシスト乳酸菌はキッコーマン株式会社の登録商標です。

お問い合わせ先 株式会社ウェルネス・ワン E-mail contact.w@wellness-one.com 0120-274-744 [10:00-18:00 / 土・日・祝日を除く]

集中力と記憶力がスコアを縮める

ゴルフIQを
高めるサプリ

Dialethea

ジアレティア



重水素減少水

DDWATER

健康維持ならお水を変えよう

無料モニター
絶賛受付中!!

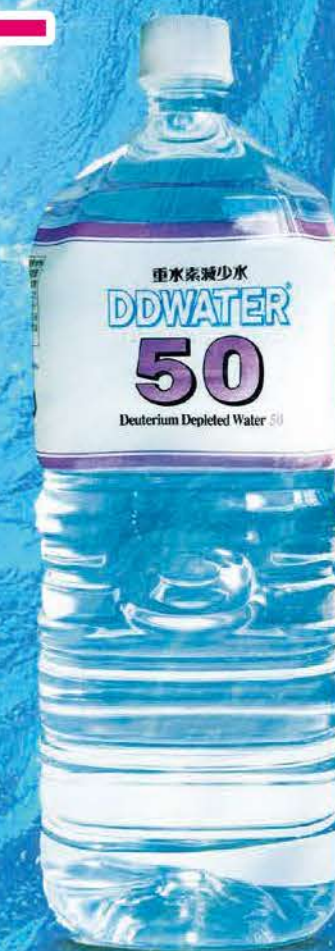
無料モニター品は、DDWATER 50ppm
4リットル、およそ4日分をお送りいたします。
お名前、住所、電話番号、おなやみのご病気をお知らせください。

さらにお得に!

提携クリニックからご紹介して頂くと

4Q ▶ 8Q になります。

提携クリニックは、ウェブサイトからご確認ください。



SLW
SUPER LIGHT WATER

株式会社スーパーライトウォーター
〒113-0033 東京都文京区本郷3-42-1 三友ビル3階
<https://www.company.slwater.com>

フリーダイヤル

0120-163-251

FAX

03-3868-5177

電話・FAX・ホームページにて受付後、モニター品を発送します。



重水素減少水

検索

医療法人 仁善会
TANAKA CLINIC
 田中クリニック

診療科目 ■ 内科・循環器科・アレルギー科 リハビリテーション科

がん統合医療、がん免疫療法
 栄養療法、点滴療法



医療法人仁善会 田中クリニック は
 次のような医療を実践しています。



田中 善

医療法人仁善会理事長
 日本先制臨床医学会理事

1. がんの免疫療法、点滴療法をはじめ統合腫瘍治療を積極的に取り入れています。
2. 腸内フローラ移植を実施し腸内環境を整えることを重視しています。
3. 栄養療法、食事療法など予防医療に取り組んでいます。

医療法人 仁善会

田中クリニック

TEL 06-6711-3770

〒544-0024

大阪市生野区生野西2丁目3番8号 電気館ビル1階

	月	火	水	木	金	土	日祝
午前	●	●	●	●	●	●	休
午後	●	休	●	休	●	休	休

午前 09:00~12:00/午後16:00~19:00

休診 火木土 午後・日祝日・お盆・年末年始

ホームページ▶
<https://www.tanaka-cl.com/>



TORIKAI YOROZU CLINIC

open in Osaka

鳥飼よろず クリニック

弁天町駅直結
 大阪ペイタワー6階に
 2022年初旬 開院予定



鳥飼よろずクリニック

院長 鳥飼 勇介

皆様、こんにちは。鳥飼よろずクリニック院長の鳥飼勇介です。私はこれまで6年間、鳥取県の地域医療に従事し消化器領域を中心とした内科診療を行なっていました。この度、消化器などの内科診療に加えてがん治療相談、再生医療などを中心とした「鳥飼よろずクリニック」を大阪ペイタワー内に開院することとなりました。当院は、内科診療に加え がん治療のご相談、標準治療で経過不十分の方のご相談など、患者さんが困っていることを相談していただける身近なクリニックを目指しております。ご相談していただき、問題を少しでも解決できればと考えております。皆様健康に少しでもお役に立てるよう努力してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



医療法人医新会

よろずクリニック 理事長

総院長 萬 憲彰

一般社団法人腸内フローラ移植臨床研究会理事
 一般社団法人日本先制臨床医学会理事
 国際水素医学研究会副理事長
 NPO法人統合医学健康増進会理事長

皆様、こんにちは。この度、大阪弁天町によるぞろクリニック分院である「鳥飼よろずクリニック」が開院することとなりました。鳥取本院は地域医療だけでなく北海道から沖縄まで多くの患者様が先進的ながん・難病治療を求めて来院されておりますが、その中で「もっとアクセスの良いところへ出してほしい」との要望が少なからずありました。その期待にお応えするべく紆余曲折を経て実現いたしました。多くの専門医療機関や大学病院と連携し、患者様の「困った」を「良かった」に変えることができる「よろずクリニック」のノウハウを全てマスターした鳥飼先生とともに地域住民の方や全国の難病患者様へ素晴らしい医療を提供させていただく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

More information coming soon.

Please wait.

日本から ガンと難病を 無くしたい!

講演会の開催



一部にしか知られていない 治療・健康法の 紹介



統合医学
健康増進会
の
活動趣旨

医師・治療家の紹介



当会は、いまだ普及していない治療法・検査法や健康法を
日本に広げるお手伝いを通し、
医療の発展に寄与することを目指しています。

講演会 の実施

統合医学を推奨する医師による
「ドクターセミナー」や
会員主催の
「健康セミナー」を
行っています。



過去のオンラインセミナーは、こちらから無料で視聴いただけます

セミナー オンライン 配信



Youtube など、オンラインプラットフォームを
利用した講演会等も動画配信しております。
ぜひ一度ご視聴ください。

<https://www.youtube.com/channel/UC2LIQjNCnBFvbK95LueGslg/featured>



Thank you message

この度は NPO 法人統合医学健康増進会様より、
第 4 回 日本先制臨床医学会学術大会に多額の寄付を行っていただきました。
当学術大会大会長より厚く御礼申し上げますとともに、
ぜひ NPO 法人統合医学健康増進会様の活動を
こちらでご紹介させて頂きたく存じます。

第 4 回 日本先制臨床医学会学術大会 大会長 田中善

統合医療とは

従来の西洋医学の治療法に加え、先進医療や代替医療などを
組み合わせたものが統合医療です。我が国には国民皆保険制度
という素晴らしいシステムがあります。
基本的にこの範囲で治療可能な場合は最優先すべきです。
しかし難病難民と呼ばれる患者さんが相当数いることも
忘れてはなりません。

言い換えると、現行の保険制度内治療には限界があると言えます。
この方々の救済のために保険外であっても有効と思われる治療を
発掘し検証していくことが真の「統合医療」だと信じています。

日本先制臨床医学会 理事長 福沢 嘉孝

講師のご協力をお願い致します
年に二回、
講演会を行います。

よるずクリニック院長/
NPO 法人 統合医学健康増進会
代表理事
萬 憲彰 (よるずけんしょう)

統合医療が導く可能性...
私達と一緒に切り開いて
いきましょう!



会員区分 (各4月更新)	概要	申込方法
一般会員	LINE で情報共有します	下記 QR コードよりお申し込みください
協力会員 (3,000 円(税込))	リアル講演会の優待があります	(本年度、休止中)
賛助会員 (30,000 円(税込))	貴社情報を ホームページに掲載します	info@togoigaku.win にお問い合わせください
認定証・認定シール	(協力医師にて審査あり)	

お気軽にお問い合わせください!

当会では、
会員を随時
募集受付
しております



NPO法人 統合医学健康増進会

〒171-0022 東京都豊島区南池袋 2-4-1-401
TEL: 03-3971-6792 FAX: 03-3971-7724



会員お申込・
お問い合わせ
フォーム



●ご質問等ありましたら、上記事務局までお気軽にご連絡ください。 <https://togoigaku.win>

理事長



福沢 嘉孝

愛知医科大学大学院医学研究科（戦略的先制統合医療・健康強化推進学）
愛知医科大学病院 先制・統合医療包括センター（AMPIMEC） 教授・部長
学校法人愛知医科大学 理事

【略歴】

1984年 愛知医科大学医学部卒業
1999年 内科学第1講座 助教授
2001年 内科学講座臓器別診療科 消化器内科・助教授
2003年 愛知医科大学大学院担当助教授
2009年 愛知医科大学大学院医学研究科（医学・医療教育学）教授、
医学教育センター教授・センター長
2010年 米国・南イリノイ大学医学部に視察・研修

2014年 独逸・ミュンヘン大学医学部・客員教授、
中国・河南中医药大学医学部・客員教授

2015年より現職

【その他】 臨床ゲノム医療学会（SOCGM）副理事長、
アジア国際健康促進・未病改善医学会 副理事長、世界中医薬学会連合会
（WFCMS）理事、日本医学英語教育学会（JASMEE）理事、日本健康医学会
（JHMA）理事、日本アロマセラピー学会（JSA）常務理事、
日本老化制御医学会（JACS）副理事長 など、その他多数

理事



田中 善

医療法人仁善会 田中クリニック 理事長・院長

【略歴】

1980年 鳥取大学 医学部医学科 卒業
大阪大学 第一内科（腎臓内科）
医学博士（大阪大学）
1987年 大阪厚生年金病院 腎臓内科医長
2001年 田中クリニック 院長
2005年 医療法人仁善会 田中クリニック 理事長

【所属学会・研究会】

日本内科学会認定内科医
日本腎臓学会腎臓専門医、日本透析医学会透析専門医、
日本医師会認定産業医、健康スポーツ医。
（一財）腸内フローラ移植臨床研究会代表理事
（一社）日本先制臨床医学会理事
点滴療法研究会ボードメンバー

萬 憲彰

医療法人医新会 よろずクリニック 院長

【略歴】

平成15年 産業医科大学 医学部 卒業
平成15年 鳥取大学医学部付属病院 第二内科入局
（血液内科、腎臓内科、消化器内科など研修）
平成16年～平成20年 済生会江津総合病院勤務 消化器内科
平成20年～平成23年 十字会野島病院 消化器科医長
平成23年10月～平成30年8月 よろずクリニック院長

平成30年9月～ 医療法人医新会よろずクリニック 理事長

特定非営利法人MCW経営サポートセンター 理事
一般社団法人日本先進医療臨床研究会 理事長
一般財団法人腸内フローラ移植臨床研究会 専務理事

西谷 雅史

医療法人響きの杜 響きの杜クリニック 理事長・院長

【略歴】

1981年 北海道大学医学部卒業
1989年 北海道大学医学部産婦人科助手
1998年 札幌厚生病院産婦人科主任部長
2005年より現職
日本胎盤臨床医学会理事
日本ホリスティック医学協会理事
日本統合医療学会北海道支部長

前田 雄輔

グランブロクリニック銀座 院長

【略歴】

2012年 関西医科大学卒
日本内科学会認定医
日本抗加齢医学会専門医
グランブロクリニック銀座院長
一般財団法人内面美容医学財団 学術理事
一般社団法人日本先制臨床医学会 理事

川上 智史

東北大学大学院歯学研究所口腔解剖学分野講師 日野厚生クリニック 副院長

【略歴】

2006年 北里大学大学院医療系研究科にて博士号取得
2006年～2009年 北里大学医学部公衆衛生学研究室
2010年～2012年 東北大学加齢医学研究所
2013年より現職
2017年～2021年 東海大学医学部予防医学系公衆衛生学 客員准教授
2020年日野厚生クリニック副院長に就任

【所属学会・研究会】

日本口腔機能水学会常任理事
日本統合医療学会評議員
日本臨床環境医学会評議員

【研究内容】

微量有害化学物質が生体に与える影響について博士号取得。
主にエストロゲン感受性関連疾患について乳がん、自己免疫疾患、骨粗鬆症、
腸管免疫中枢、グリア細胞に対する影響など、疾患の関連性について研究、
シックハウス症候群についての研究、健康の維持増進に関わる研究。

坂口 力

東京医科大学統合医療研究講座 特任教授

【略歴】

1960年 三重大学医学部卒業
1965年 同大学大学院医学研究科修了
1969年 三重赤十字血液センター所長
1972年 衆議院議員初当選
2001年 初代厚生労働大臣就任
2016年より現職

【その他】

免疫の力でがんを治す患者の会 会長
一般財団法人難病治療研究振興財団 専務理事

朝田ケミカル株式会社

シンバイオシス株式会社

有限会社マイテック

一般財団法人 日本先端医療財団

株式会社ホットアルバム炭酸泉タブレット

株式会社ヘリックスジャパン

株式会社福山臨床検査センター

株式会社ウェルネス・ワン

株式会社東洋厚生製薬所

株式会社 LiNK

株式会社サイドランド

株式会社スーパーライトウォーター

株式会社 Biophoton

株式会社 BARNUM

株式会社ケニングコーポレーション

各企業の詳細、連絡先はこちらのQRコードより当会HPを参照させていただきます。

<https://jspcm.org/member-company/>



第5回

JSPCM KYOTO 2022

日本先制臨床医学会 学術記念大会

The 5th Annual Meeting of Japanese Society of Preemptive and Clinical Medicine

日時
予定

2022

11/19 土 13:00~20:00

11/20 日 9:00~17:30

会場

同志社大学 今出川キャンパス

新時代に向けた 新しい予防・治療

◆ 学術大会 大会長
川上 智史

(東北大学大学院歯学研究科日野厚生クリニック 副院長)

◆ 副大会長
西谷 雅史

(響きの杜クリニック 理事長・院長)

◆ 学会理事長

福沢 嘉孝 (愛知医科大学 教授)

with 統合治療で患者に寄り添う

一般社団法人 日本先制臨床医学会
統括事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1 三友ビル 3 階
TEL: 03-3868-5178 FAX: 03-3868-5177
お問い合わせ：平日 10:00~17:00

一般社団法人

日本先制臨床医学会

Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine



<https://jspcm.org>

募集スタート!

学術大会 講演登壇者

企業出展ブース 出展企業様

抄録集 広告枠

学術大会 寄付

すべてのお問い合わせ：<https://jspcm.org/contact/>

一般社団法人 日本先制臨床医学会 統括事務局
〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1 TEL: 03-3868-5178 担当：飯田



2022年 第5回 日本先制臨床医学会 学術記念大会 開催予定地経路

同志社大学 今出川キャンパス

● 良心館 RY103(メイン講堂) ● RY102(企業展示ブース)



所在地：京都市上京区今出川通り烏丸東入

学内直結の地下鉄烏丸線「今出川駅」がお勧めです。

(地下鉄烏丸線「今出川」駅から徒歩1分、京阪電車「出町柳」駅から徒歩15分、バス停「烏丸今出川」から徒歩1分)



JSPCM
日本先制臨床医学会

一般社団法人 日本先制臨床医学会

Japan Society of Preemptive and Clinical Medicine

本 部：〒650-0047 兵庫県神戸市中央区港島南町 1-6-4 IMP ビル
統括事務局：〒113-0033 東京都文京区本郷 3-42-1 三友ビル 3 階
TEL: 03-3868-5178 FAX: 03-3868-5177 (お問い合わせ：平日 10:00～17:00)

<https://jspcm.org>

●本誌記載のデータは、2021年10月15日提出時点の物です。 ●本誌定価：1,100円(税込)